

# 東京における「今夏の節電対策」の実施結果

## 2. 都内事業所・家庭における 今夏の節電対策の実施状況等

～ 都内事業所・都民への節電アンケート調査結果～



2011年12月  
東京都

### 【目次】

#### 1. 「大口需要家（大規模事業所）」に対するアンケート調査結果

- (1) 「建物所有者」の取組状況・・・p3～  
今夏の取組分析(大口(建物所有者):総括)・・・p16～
- (2) 大規模事業所内の「テナント」の取組状況・・・p19～  
今夏の取組分析(大規模事業所内のテナント:総括)・・・p27～
- (3) 今夏の「賢い省エネ・節電対策」の事例・・・p30～

#### 2. 「小口需要家（中小規模事業所）」に対するアンケート調査結果

- (1) 全体傾向・・・p41～
- (2) 「小口:テナントビル」での取組状況・・・p44～
- (3) 「小口:オフィスビル(自社ビル)」での取組状況・・・p49～
- (4) 「小口:サービス業系」での取組状況・・・p54～
- (5) 「小口:工場」での取組状況・・・p59～
- (6) 今夏の取組分析(小口:総括)・・・p64～
- (7) 今夏の「賢い省エネ・節電対策」の事例・・・p73～

#### 3. 「街頭アンケート調査」結果・・・p75～

- (1) 「家庭」での取組状況・・・p77～
- (2) 「街中での取組」への印象・・・p79～



# 1. 「大口需要家（大規模事業所）」 に対するアンケート調査結果

## （1）「建物所有者」の取組状況



## 東京における「今夏の節電対策」実施状況等

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

### 1. 大口需要家 （1）建物所有者の取組

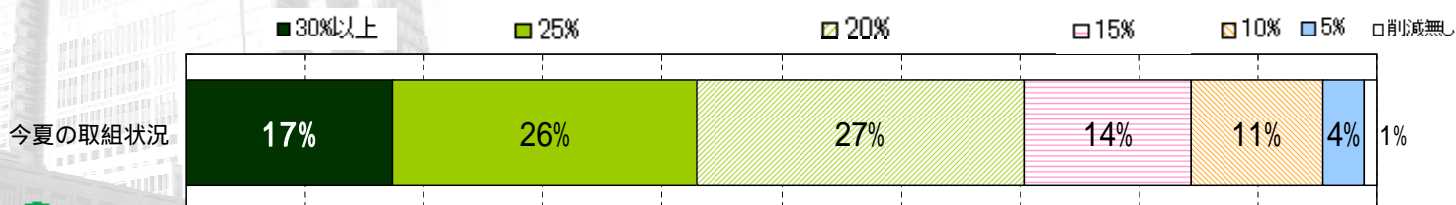
（契約電力500kW以上の事業所）

#### 【アンケート等実施概要】

- ・実施期間：2011年9月22日～10月11日（実施者：東京都）
- ・対象者：キャップ & トレード制度対象事業所（建物所有者）：1298事業所に送付（回答521件、回収率40%）  
オフィスビル、テナントビル、商業施設、宿泊施設、教育施設、工場等
- ・調査：今夏都が対策実施を推奨した「節電重点10対策」等の実施状況ほか（都は省エネにも資する対策の実施を推奨）

#### 昨夏と比べた使用最大電力の削減割合

8割の事業所で、「15%以上の削減」を実施（大規模事業所の中には、電事法第27条の適用除外の事業所も存在）  
「20%削減」の事業所と「25%削減」の事業所で「5割」を占める。  
「30%以上削減」の事業所も約2割存在



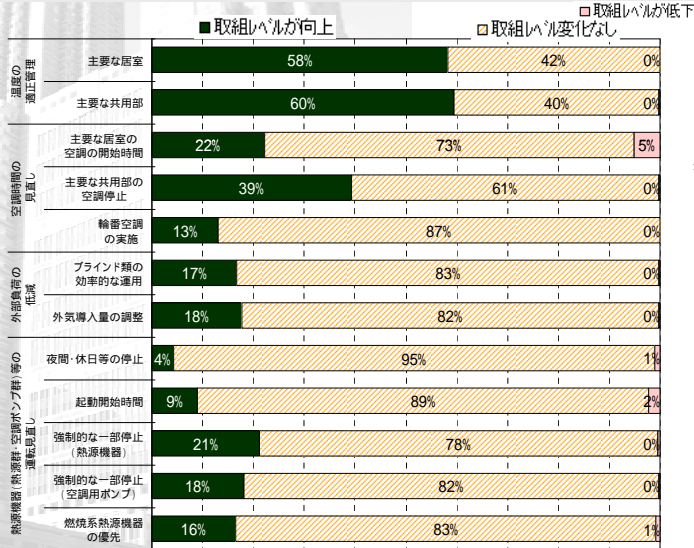
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

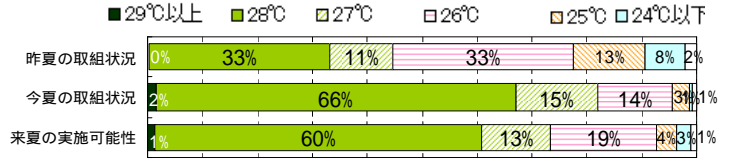
### 取組レベルの昨夏からの変化 ～「空調」

特に、「居室(執務室)」「共用部」での「空調温度」に関する取組が新たに実施された。(空調26 から空調28へ変更など、取組レベルが向上)



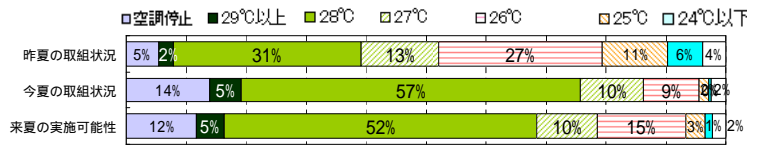
### 主要な居室(執務室)の平均的な温度

昨夏は「28℃」が3割。「26℃」が3割  
 今夏は、7割の事業所が「28℃」。  
 「来夏の実施可能性」:6割の事業所が「28℃」を継続。「26℃」での継続も2割



### 主要な共用部(廊下等)での平均的な温度

昨夏は「28℃」が3割。「26℃」が3割  
 今夏は、6割の事業所が「28℃」。「空調停止」を実施した事業所も1割存在  
 「来夏の実施可能性」:5割の事業所が「28℃」を継続



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

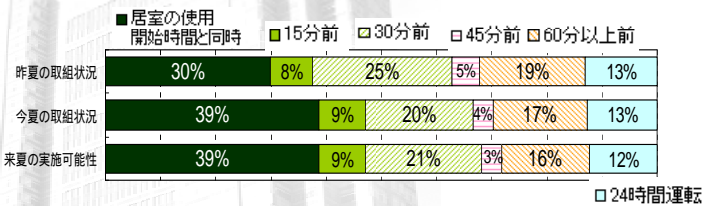
～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

### 主要な居室の空調開始時間

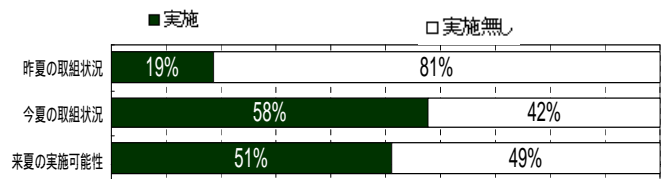
～居室の使用開始時間と比べた、空調開始時間

「居室の使用開始時間と同時に」空調を開始する割合が、昨夏・今夏ともに多い。今夏は昨夏に比べ実施割合が1割増加。また、「30分前」に開始する事業所の割合が昨夏と比べ5%程度減少  
 「来夏の実施可能性」:同程度の事業所割合で継続



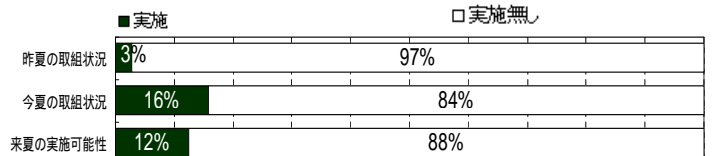
### 主要な共用部(廊下等)の空調の停止

昨夏は2割の事業所で「実施」  
 今夏は、6割の事業所で「実施」  
 「来夏の実施可能性」:5割の事業所で取組を継続



### 輪番空調の実施

昨夏の実施割合は、3%程度  
 今夏は、2割の事業所で「実施」  
 「来夏の実施可能性」:1割の事業所が継続



東京都

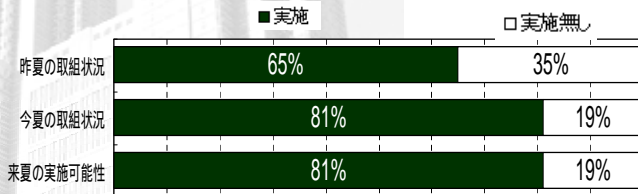
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

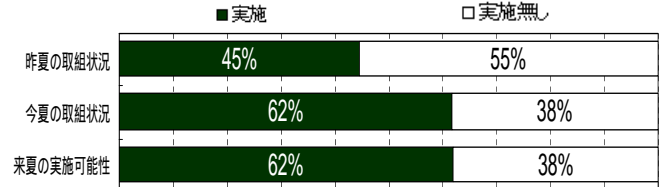
### ブラインド類の利用

昨夏の実施割合は約7割  
今夏は、8割の事業所で「実施」  
「来夏の実施可能性」:8割の事業所が継続



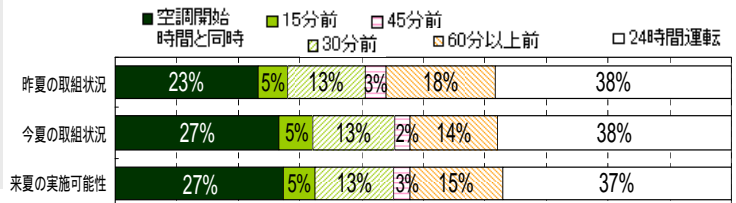
### 室内CO2濃度管理による外気導入量の削減

昨夏は約5割の事業所で「実施」  
今夏は、6割の事業所で「実施」(4割の事業所で未実施)  
「来夏の実施可能性」:6割の事業所が継続



### 熱源機器及び空調用ポンプ群の起動時間 ～空調開始時間と比較した起動開始

昨夏も今夏も、「空調開始時間と同時」に起動させている事業所の割合が多い。(今夏、「空調開始時間と同時」に起動させている事業所の割合が4%増加し、「60分以上前」に起動させている事業所の割合が4%減少)  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の対策レベルが継続



7

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

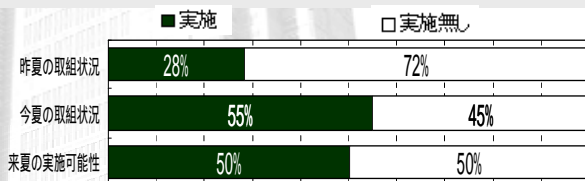
～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

ピーク時の設備機器の一部停止や、燃焼系設備の優先利用などのピークカット対策も、一定割合の事業所で実施された。(対象設備がある事業所での状況)

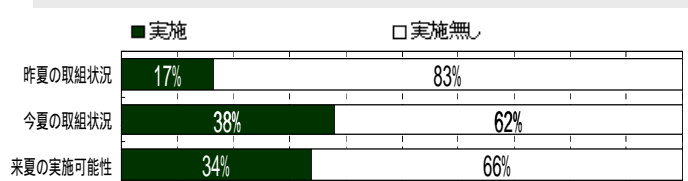
### ピーク時の熱源機器の強制的な一部停止

【対象設備が存在する事業所からの回答】  
昨夏は7割の事業所で「実施無し」(実施事業所は3割)  
今夏は約6割の事業所で「実施」  
「来夏の実施可能性」:5割の事業所が継続  
(「実施無し」の事業所は5割)



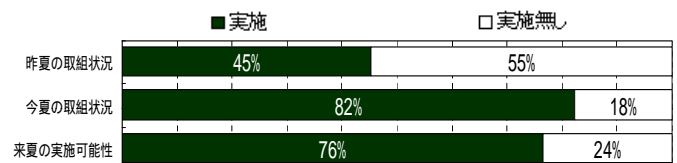
### ピーク時の空調用ポンプの強制的な一部停止

【対象設備が存在する事業所からの回答】  
昨夏は8割の事業所で「実施無し」(実施事業所は2割)  
今夏は約4割の事業所で「実施」  
「来夏の実施可能性」:3割の事業所が継続  
(「実施無し」予定事業所は7割)



### 熱源機器が電気系と燃焼系併用システムの場合における、燃焼系熱源機器の優先的な運転

【対象設備が存在する事業所からの回答】  
昨夏は、「実施無し」と「実施」がほぼ均衡  
今夏は8割の事業所で「実施」  
「来夏の実施可能性」:8割の事業所が継続





# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

### 取組レベルの昨夏からの変化 ～「換気」

「機械室」「駐車場」等での換気ファンの運転時間に関する取組が実施された。(特に、「機械室」での換気ファンの平均的な運転時間が、昨夏と比べて削減された。)

#### 平均的な運転時間(機械室)

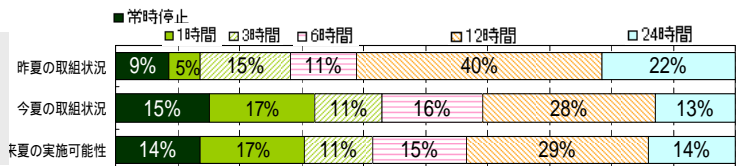
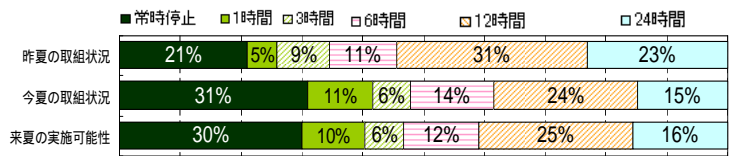
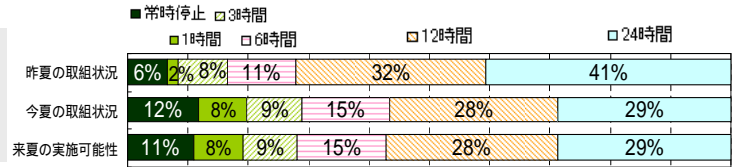
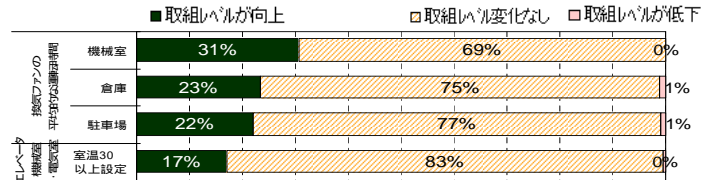
今夏、「24時間」運転の割合が3割に減少(昨夏は4割)。「常時停止」の割合も昨夏の2倍に(6%→12%)。「6時間以内(常時停止を含む)」の割合が、3割(昨夏)から4割に増加  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続

#### 平均的な運転時間(倉庫)

今夏、「常時停止」の割合が3割に増加(昨夏(2割)と比べ1割増加)。「6時間以内(常時停止を含む)」の割合が、5割(昨夏)から6割に増加  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続

#### 平均的な運転時間(駐車場)

今夏、「常時停止」の割合が約2割に増加(昨夏(1割)と比べ1割増加)。「6時間以内(常時停止を含む)」の割合が、4割(昨夏)から6割に増加  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

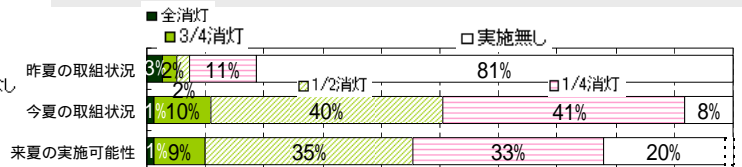
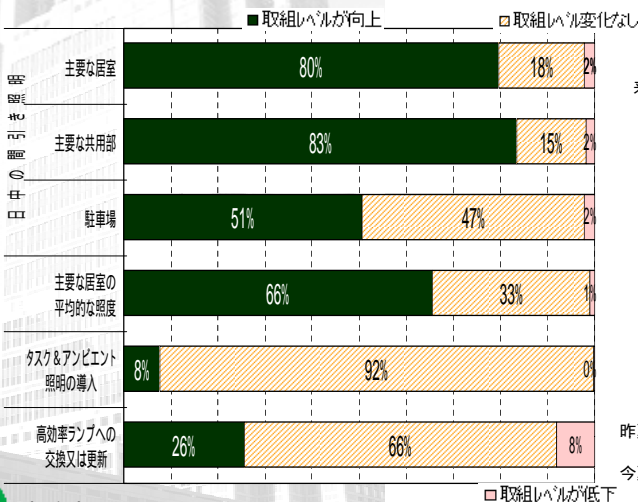
## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

### 取組レベルの昨夏からの変化 ～「照明」

8割の事業所で「照明の間引き」対策が新たに実施(居室(執務室)においても実施)  
7割の事業所で主要な居室の平均的照度の取組レベルが向上した。

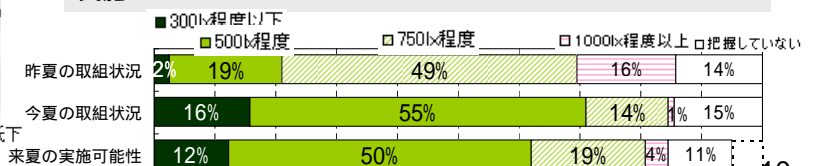
### 主要な居室(執務室)での「間引き」

昨夏は、8割の事業所で「実施無し」  
今夏は、9割の事業所で「対策実施」(「3/4消灯」:1割、「1/2消灯」:4割、「1/4消灯」:4割)  
「来夏の実施可能性」:約8割の事業所が継続



### 主要な居室(執務室)の平均的な照度

昨夏は、5割の事業所が「750ルクス程度」(「1000ルクス程度以上」も16%存在。「500ルクス程度」以下の事業所割合は2割)  
今夏は、6割の事業所が「500ルクス程度」に(全体の7割が「500ルクス程度」以下で実施)  
「来夏の実施可能性」:6割の事業所で「500ルクス程度」以下を実施



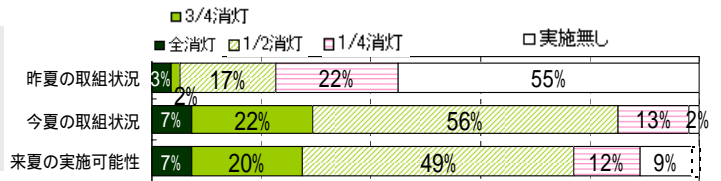
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

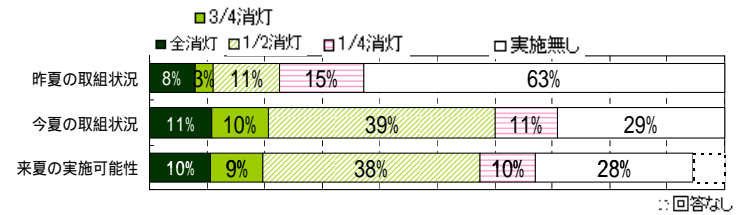
### 主要な共用部(廊下等)での「間引き」

昨夏は、6割の事業所で「実施無し」  
 今夏は、ほぼ全ての事業所で「対策実施」(「3/4消灯」:2割、「1/2消灯」:6割、「1/4消灯」:1割)  
 「来夏の実施可能性」:約9割の事業所が継続



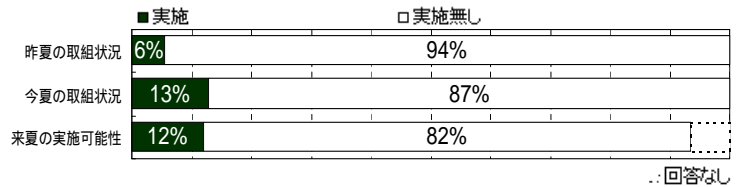
### 駐車場での「間引き」

昨夏は、6割の事業所で「実施無し」  
 今夏は、7割の事業所で「対策実施」(「全消灯」:1割、「3/4消灯」:1割、「1/2消灯」:4割、「1/4消灯」:1割)  
 「来夏の実施可能性」:7割の事業所が継続



### タスクアンビエント照明の導入

昨夏は、6%割の事業所で「実施」  
 今夏は、13%の事業所で「実施」  
 「来夏での実施可能性」:12%の事業所が実施



東京都

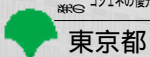
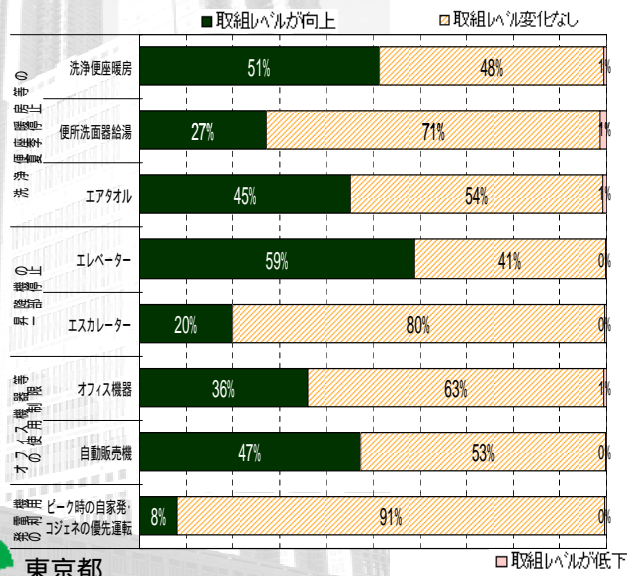
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

### 取組レベルの昨夏からの変化 ～「その他」

5割の事業所で、便座暖房や自販機・エレベータの一部停止などが新たに実施された。(対象設備がある事業所での状況)

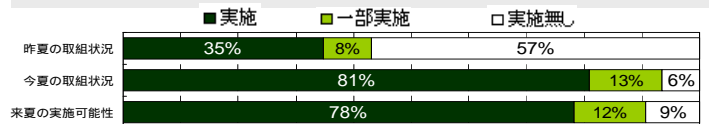


東京都

取組レベルが低下

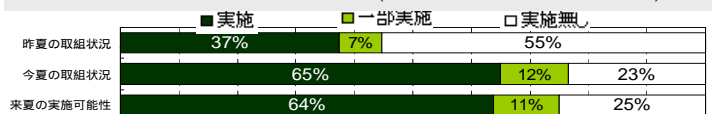
### 洗淨便座暖房の停止

昨夏は、4割の事業所で「実施」  
 今夏は、8割の事業所で「実施」(部分的な実施を含めると9割)  
 「来夏の実施可能性」:8割で「実施」(部分的な実施を含めると9割)



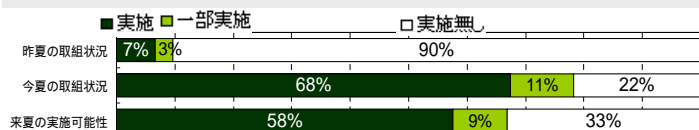
### 便所洗面器給湯の停止

昨夏は、4割の事業所で「実施」  
 今夏は、7割の事業所で「実施」(部分的な実施を含めると8割)  
 「来夏の実施可能性」:6割で「実施」(部分的な実施を含めると8割)



### エアタオルの停止

昨夏は、1割の事業所で「実施」  
 今夏は、7割の事業所で「実施」(部分的な実施を含めると8割)  
 「来夏の実施可能性」:6割で「実施」(部分的な実施を含めると7割)



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

### エレベータの使用停止割合

昨夏は、9割の事業所で「実施無し」  
今夏は、部分的な実施を含め7割の事業所で実施  
「来夏の実施可能性」:6割の事業所で「実施」、4割の事業所では「実施無し」

### エスカレータの使用停止割合

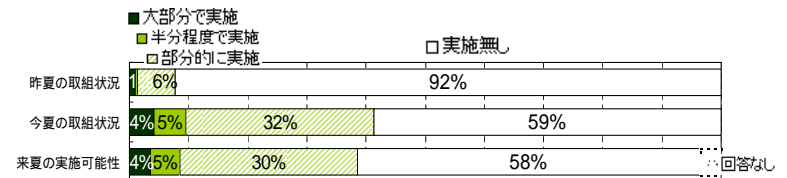
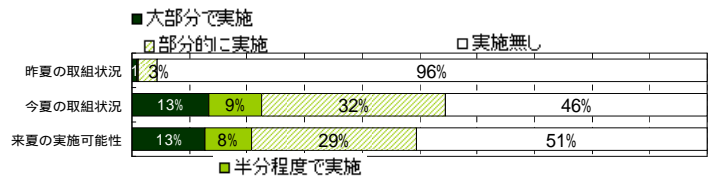
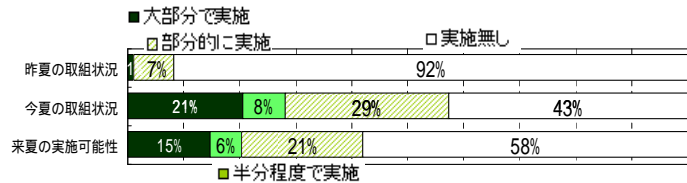
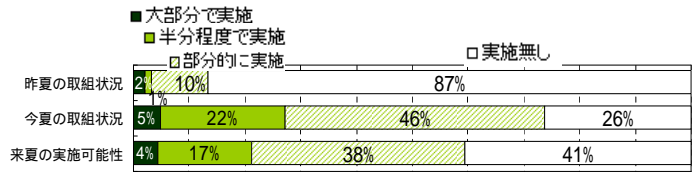
昨夏は、9割の事業所で「実施無し」  
今夏は、部分的な実施を含め6割の事業所で「実施」  
「来夏の実施可能性」:6割の事業所で「実施無し」

### 自動販売機の使用停止割合

昨夏は、9割の事業所で「実施無し」  
今夏は、部分的な実施を含め5割の事業所で実施  
「来夏の実施可能性」:5割の事業所で「実施」(5割で「実施無し」)

### オフィス機器の使用台数の削減

昨夏は、9割の事業所で「実施無し」  
今夏は、部分的な実施を含め4割の事業所で実施  
「来夏の実施可能性」:4割の事業所で「実施」



13

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

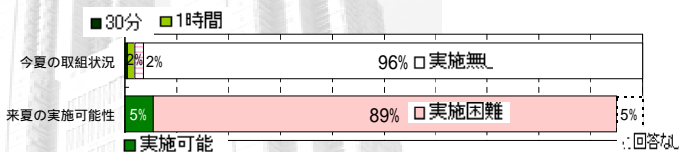
～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

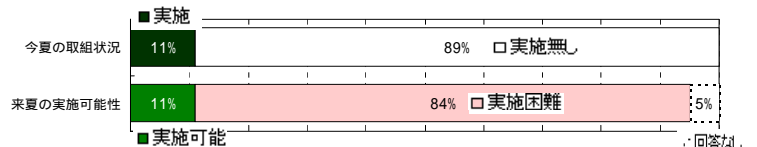
### 取組状況の昨夏からの変化 ～「時間短縮」

営業時間の短縮や輪番休業などの取組は、9割の事業所で「実施無し」。  
来夏も、7割以上の事業所が「実施困難」と回答

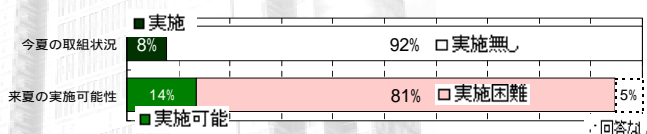
### 営業時間の短縮



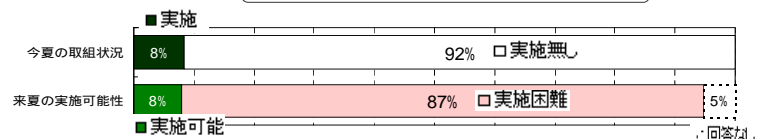
### 休日の長期化



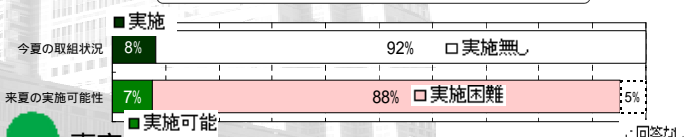
### サマータイムの実施



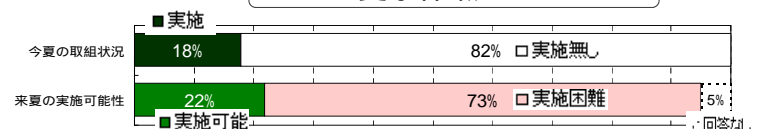
### 営業日の変更



### 輪番休業



### 夏季休暇のシフト





# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

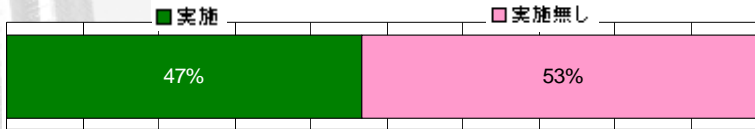
～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

「工場」での取組状況

節電のための生産量の調整

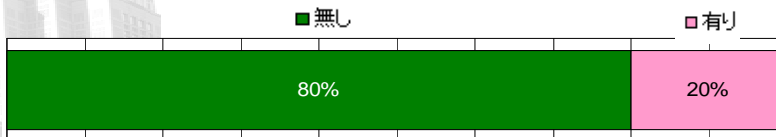
「5割」の事業所で「実施」。一方で、「5割」の事業所で「実施無し」



節電対策の実施による、製品の品質や歩留まりの低下

「8割」の事業所で「影響無し」と回答。「2割」の事業所で「影響有り」と回答

(「影響有り」の例:「休日に工場稼働のため、機器故障時に部品等の調達・製品原料等の購買機能が低下、連絡が遅れるなどの不都合が生じた」)



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組 総括

全般	・8割の事業所で、昨夏と比べた使用最大電力について「15%以上の削減」を実施
空調	・昨夏は取組の少なかった、「執務室」での空調28 が、今夏7割の事業所で実践された(昨夏の「28」の実施割合は全体の3割)。6割の事業所が、来夏も継続の意向 ・駐車場の換気ファンの稼働について、昨夏は4割の事業者が「12時間」運転であったが今夏は3割に減少。「常時停止」の割合も、今夏約2割に増加(昨夏(1割)と比べ1割増加)。来夏も、今夏と同程度の状況で継続予定 ・約半数の事業所で、ピーク時の熱源機器やポンプの一部停止を実施。今夏のピーク時における燃焼系設備の優先的運転実施の割合は8割 対象設備を有する事業所の回答結果
照明	・昨夏は取組の少なかった、「執務室」での照明の間引きが、今夏、9割の事業所で実践された。8割の事業所が来夏も継続の意向 ・特に、主要な居室(執務室)の照度は、従来の「750ルクス程度」から「500ルクス程度以下」が主流に(昨夏は5割の事業所で「750ルクス程度」であったが、今夏は6割の事業所が「500ルクス程度」に(全体の7割が「500ルクス程度」以下に)。来夏も、6割の事業所が「500ルクス程度」以下で実施予定 ・昨夏は6割の事業所で「実施無し」であった「共用部(廊下等)」での間引きは、今夏はほぼすべての事業所で実施。「駐車場」での間引きも7割の事業所で実施(昨夏は6割の事業所で実施無し)
エレベータ/エスカレータ等	・昨夏は9割の事業所で「エレベータ/エスカレータの使用停止」は「実施無し」。今夏は、6～7割の事業所で「実施(部分的停止を含む)」 ・来夏も4～6割で継続意向があるが、同時に4～6割の事業所では実施予定無し。
時間短縮	・営業時間の短縮や休暇シフトなどの取組は、ほとんどの事業所で実施されていない。
工場	・5割の事業所で「生産量の調整」が実施された。 ・「節電対策実施による製品の品質や歩留まりの低下」については8割の事業所が「影響無し」と回答





# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家（1）建物所有者の取組 総括 ～ 自由意見で寄せられた声等より

\* 省エネ対策として提示されてきた取組が、従来にも増してより徹底して実施された。これまでの省エネ・CO2削減のノウハウを活かして、比較的無理なく実践された。

\* 緊急の節電要請であったため、今夏追加的に実施した施策は設備更新を伴わない運用対策が主であったが、都条例への対応等のため計画的な設備更新を実施中でありその効果も相まって削減が達成できた、との意見を有する事業所も存在

\* テナントビルでの取組が大きく展開された（照明照度の見直し等のテナントエリアでの取組がこれまでにない程度実施）。テナントビルや商業施設においては、テナントの積極的な協力があつたからこそ「15%削減」を達成できたという回答も。一方で、テナントの協力を得るのが困難であった、と回答する声も。

- 『都条例対応等のために、普段からテナントと定期的な実施していた省エネ会議の場を活用し、時間的余裕がない中でも比較的スムーズに意思の疎通が図れた』『制限令解除後も、節電対策の解除を要求されることなく、継続的な節電に御協力いただいていることに感謝』
- 『電力使用制限令の開始時間が9時からのため冷房機器の立ち上げ時間を9時前に実施し午前中に館内の冷房温度を確保』
- 『空調の“設定温度”を28にすると“実際の室温”が28を上回る。執務環境の快適性を少しでも確保するため、“実際の室温”が28になるように、定期的に確認するなどしてきめ細かな室温管理を行った。』
- 『照明の間引き等を行った結果、照明による空調負荷が減り、結果的に空調エネルギーの削減にもつながった。』
- 『今夏はビル全体で20%以上の削減ができたが、照明照度の見直しで10%程度削減できたと推定している。』
- 『厨房冷凍冷蔵庫の集約を行い、使用しない冷凍冷蔵庫の使用停止を行った。』
- 『今夏の節電で大幅な削減ができたが、原発の影響による宿泊客の減や猛暑でなかったことも要因のひとつと考えている』
- 『電力不足に伴う使用制限は、普段より電気はあつて当たり前への認識を変え、使用する人に広く電気使用のあり方を再認識させていただきよい機会になったと思っている。』
- 『今回の電事法制限令は、これまで省エネを実施してきた事業所ほど厳しい仕組み。都条例のトップレベル事業所認定や基準排出量の算定ルールなどのようにこれまでに取り組んできた事業所への配慮を行ってほしい。』
- 『今回の取組は壮大な社会実験であったが、将来的な省エネや省CO2にもつながる大きな意義があるものと感じた。』

17

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家（1）建物所有者の取組【参考：アンケート事項一覧】

分類	対策項目	質問内容	分類	対策項目	質問内容
空調	室温の適正管理	平均的な設定温度(実際の室温でも可)は概ね何℃でしたか。	空調	洗浄便座暖房等の夏季停止	洗浄便座暖房等を停止しましたか。
	空調時間の見直し	主要な居室の空調開始時間は、居室の使用開始時間の概ね何分前でしたか。		昇降機の一部停止	エレベーター及びエスカレーターの使用停止(ピーク時を除く。)をそれぞれの全台数に対してどの程度の割合で行いましたか。
	外部負荷の低減	主要な共用部の空調を中止してましたか。		オフィス機器等の適正使用	エレベーター
	熱源機器等の運転見直し	主要な共用部の空調を中止してましたか。		その他	エスカレーター
	熱源機器等の運転見直し	輪番空調を行いましたか。		発電機の利用	オフィス機器(コピー機、プリンター等)の使用制限を、オフィス機器の台数に対して、どの程度の割合で行いましたか。
	熱源機器等の運転見直し	ブラインド類の効率的な運用対策を行いましたか。		その他	自動販売機の使用制限を、自動販売機の台数に対して、どの程度の割合で行いましたか。
換気	ファン等の運転見直し	室内CO2濃度が問題ない範囲で、外気導入量を絞る調整を行いましたか。	時間等の対策	節電のために、業務時間の短縮対策を行いましたか。	営業時間の短縮
	熱源機器等の運転見直し	夜間や休日等に、熱源群及び空調ポンプ群を停止してましたか。		節電のために、業務時間をシフトする(ずらす)対策を行いましたか。	休日の長期化
照明	適切な照度管理	電力ピーク時に、運転する熱源機器や空調用ポンプの一部を、強制的に停止する対策を実施してましたか。	その他	節電のために、業務時間をシフトする(ずらす)対策を行いましたか。	サマータイム
	高効率ランプへの交換	電力ピーク時に、運転する熱源機器や空調用ポンプの一部を、強制的に停止する対策を実施してましたか。		節電のために、使用場所の集約や制限を行いましたか。	屋の休憩時間
	熱源機器等の運転見直し	熱源機器が電気系と燃焼系の併用システムの場合、燃焼系熱源機器を優先的に運転してましたか。		使用制限期間中は昨年夏の使用最大電力等(基準電力)に対して、どの程度削減できましたか。	営業日の変更
工場	照明	照明を、日中どの程度間引きしてましたか。	工場	節電のために、生産量の調整を行いましたか。	輪番休業
	高効率ランプへの交換	主要な居室の平均的な照度は、どの程度でしたか。		節電対策の結果、製品の品質や歩留まりの低下はありましたか。	夏季休暇

# 1. 「大口需要家（大規模事業所）」 に対するアンケート調査結果

## （2）大規模事業所内の「テナント」 の取組状況



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 （2）大規模事業所内のテナントの取組

（契約電力500kW以上の事業所内の大規模テナント）

### 【アンケート等実施概要】

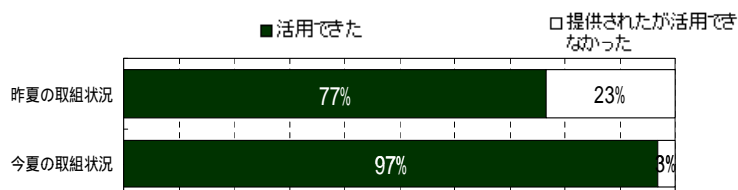
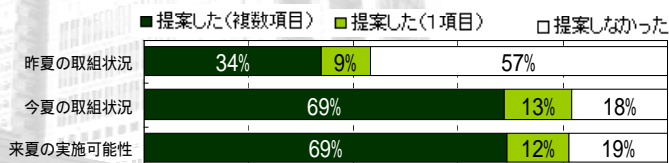
- ・実施期間：2011年9月22日～10月11日（実施者：東京都）
- ・対象者：キャップ & トレード制度における特定テナント等事業者：774テナントに送付（回答204件、回収率26%）
- ・調査：今夏都が対策実施を推奨した「節電重点10対策」等の実施状況ほか（都は省エネにも資する対策の実施を推奨）

### テナントからオーナーへの節電対策提案

昨夏、オーナーへ節電対策を提案したテナントの割合は4割（6割のテナントは「提案を実施していない」）  
今夏は、8割のテナントがオーナーへ節電対策を提案  
「来夏の実施可能性」：8割のテナントで実施の意向

### エネルギー使用量の「見える化」 ～ オwnerから提供されたデータの活用～

「オーナーから提供されたエネルギー消費量等のデータ」について、昨夏も8割のテナントが「活用」しているが、今夏はほぼ全てのテナントが「活用できた」と回答



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

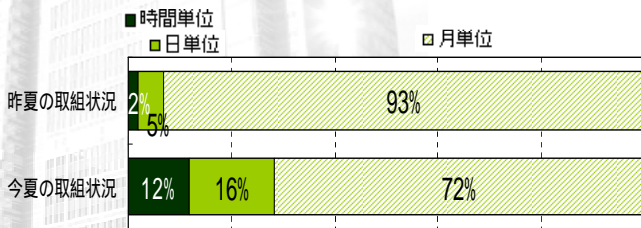
## 1. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

エネルギー使用量の「見える化」  
(オーナーから提供された「空調」データ)

### 【提供単位(空調)】

今夏も、「月単位」でのデータ提供の割合が7割と高いが、今夏は昨夏と比べ、「時間単位」「日単位」での提供が3割に増加

### 【提供単位(空調)】

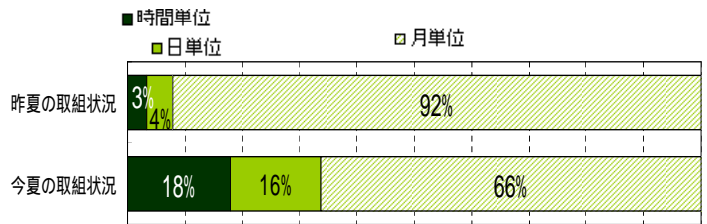


エネルギー使用量の「見える化」  
(オーナーから提供された「空調以外」のデータ)

### 【提供単位(空調以外(電気・ガス等))】

今夏も「月単位」でのデータ提供の割合が7割と高いが、今夏は昨夏と比べ、「時間単位」「日単位」での提供が3割に増加

### 【提供単位(空調以外)】



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

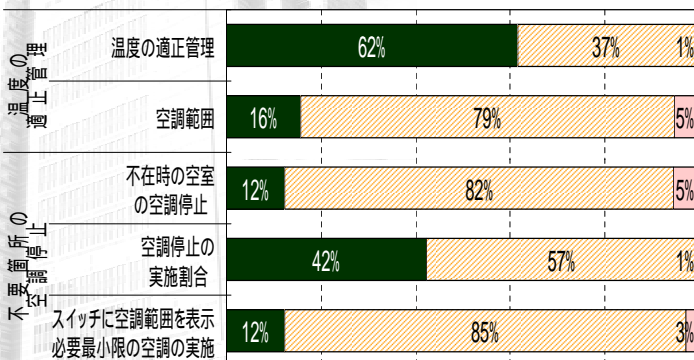
～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

取組レベルの昨夏からの変化 ～「空調」

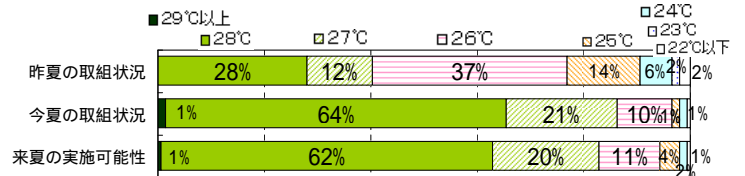
特に、空調温度に関する取組が多く実施された。

■ 取組レベルが向上 ■ 取組レベル変化なし □ 取組レベルが低下



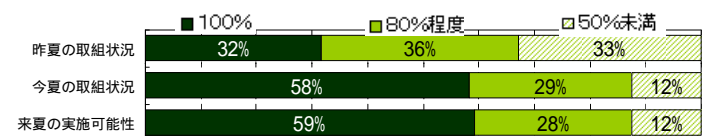
居室居室(執務室)の平均的な温度

昨夏は「26℃」が4割。「28℃」が3割  
今夏は、6割を超えるテナントが「28℃」を実施  
「来夏の実施可能性」:6割のテナントが「28℃」を継続



不在時のこまめな空調停止の実施

昨夏と比べ「80%程度」以上のエリアでの実施割合が、7割から約9割に増加  
今夏は特に、「全エリア(100%)」での実施割合が3割から6割に増加  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続



東京都



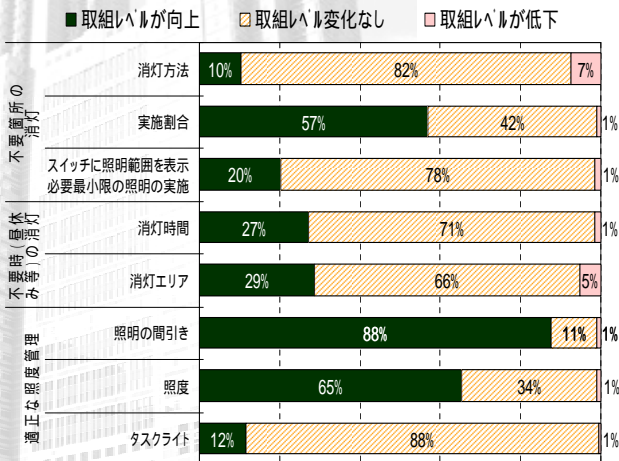
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

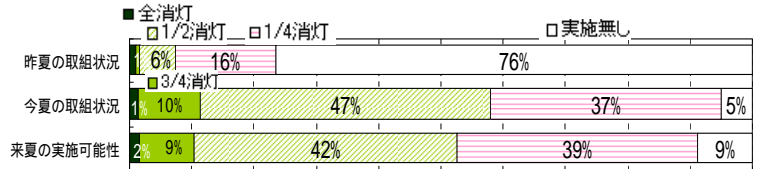
### 取組レベルの昨夏からの変化 ～「照明」

9割のテナントで「照明の間引き」の取組レベルが向上。照度管理により照度を下げたテナントも多く存在



### 「間引き」の程度

昨夏は、約8割のテナントで「実施無し」  
今夏は、9割のテナントで「対策実施」  
（「3/4消灯」:1割、「1/2消灯」:5割、「1/4消灯」:4割）  
「来夏の実施可能性」:9割のテナントで対策継続

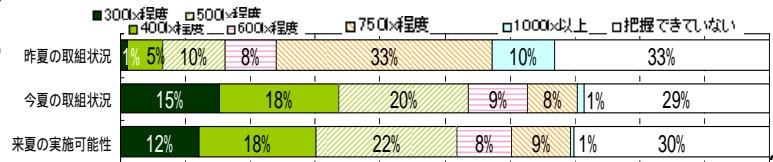


### 平均的な「照度」

昨夏は、4割のテナントが「750ルクス程度」以上（約1割が「1000ルクス以上」）。3割のテナントで照度が未把握

今夏、5割のテナントが「500ルクス程度」以下に（「300ルクス程度」2割、「400ルクス程度」:2割、「500ルクス程度」:2割。）。「750ルクス程度」は1割未満に。

「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続



東京都

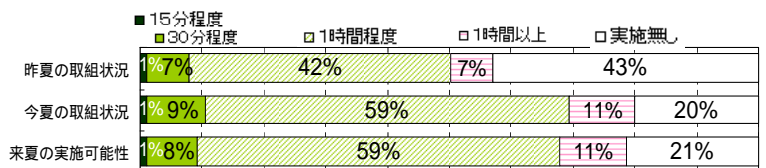
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

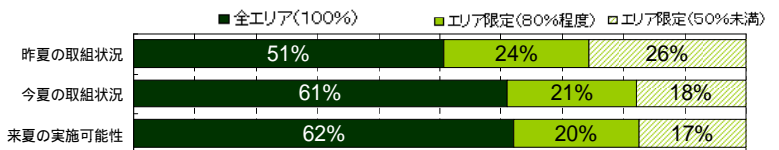
### 昼休み等の消灯(消灯時間)

昨夏は、4割のテナントで「実施無し」  
今夏は、8割のテナントで実施（「1時間程度」実施の割合が6割と最も高い）  
「来夏の実施可能性」:8割のテナントで継続



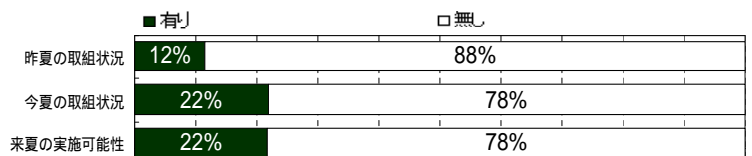
### 昼休み等の消灯(エリア)

「全エリア(100%)」での実施割合が、昨夏の5割から、今夏は6割に増加  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続



### タスクライトの活用

昨夏は、1割のテナントが活用  
今夏は、2割のテナントが活用  
「来夏の実施可能性」:2割のテナントが活用



東京都

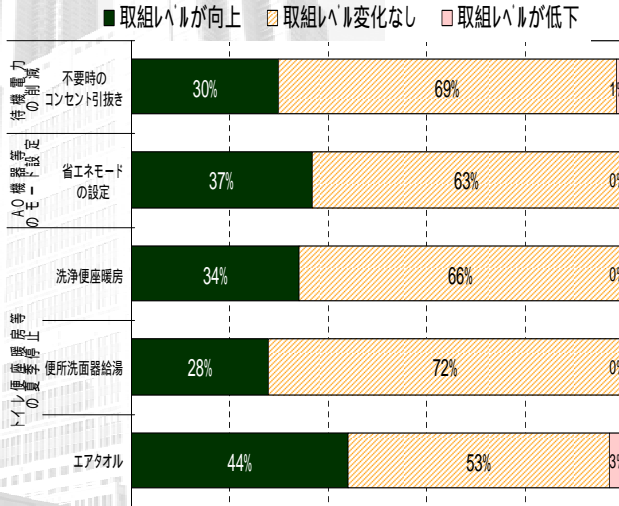
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

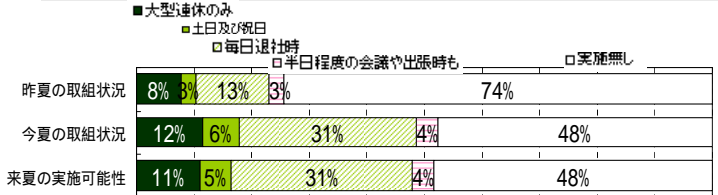
### 取組状況の昨夏からの変化 ～「コンセント」

3～4割のテナントで、不要時のコンセントからのプラグの引き抜き、省エネモード設定、トイレでのエアタオルの停止などの対策が新たに実施された。



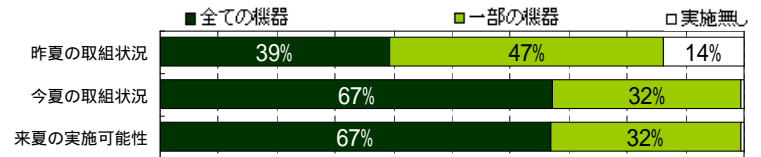
### 不要時のコンセントからのプラグの引抜き

昨夏は、7割のテナントで「実施無し」  
今夏、5割のテナントが実施(同時に、5割のテナントで「実施無し」)。「毎日退社時」での取組実施が昨夏の1割から3割に向上  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続



### パソコン、fax、北機、プリンタ等の省エネモード設定

昨夏14%存在した「実施無し」が、今夏はほぼゼロに。  
「全ての機器で実施」の割合が、4割から7割に増加  
「来夏の実施可能性」:今夏と同程度の取組が継続



東京都

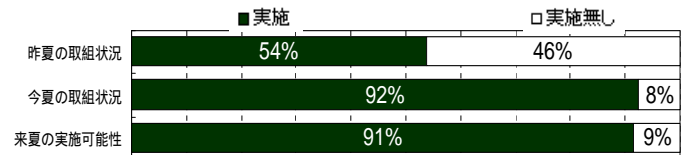
# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

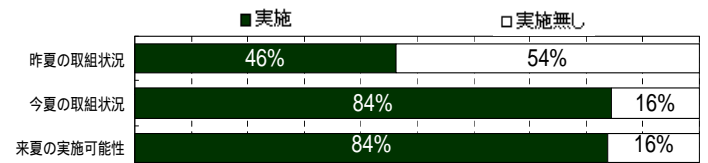
### 洗浄便座暖房の停止

昨夏は、5割のテナントが「実施無し」  
今夏、9割のテナントで「実施」  
「来夏の実施可能性」:9割のテナントが「実施」



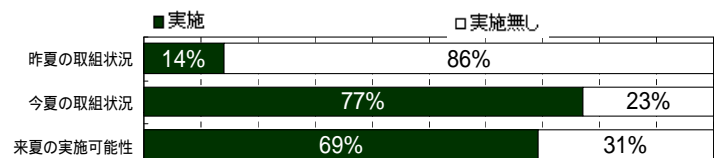
### 便所洗面器給湯の停止

昨夏は、5割のテナントが「実施無し」  
今夏、8割のテナントで「実施」  
「来夏の実施可能性」:8割のテナントが「実施」



### エアタオルの停止

昨夏は、9割のテナントが「実施無し」  
今夏、8割のテナントで「実施」  
「来夏の実施可能性」:7割のテナントが「実施」



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組 総括

(契約電力500kW以上の事業所内の大規模テナント)

全般	<p>・8割のテナントが「オーナーへ節電対策を提案」(昨夏は6割が未実施)。8割のテナントが来夏も継続の意向</p> <p>・ほぼ全てのテナントが電力使用量の「見える化」(ビルオーナーからのデータ提供等)が節電に活用できたと回答(オーナーから提供されるテナントのエネルギー消費量についても、「月単位」の情報だけに留まらず、「時間単位」や「日単位」で提供される割合が増加)</p> <p>テナントからの対策提案やより詳細なエネルギー消費量のデータ提供を期待する傾向が来夏も定着する見込み</p>
空調	<p>・昨夏は取組の少なかった、「執務室」での空調28℃を、今夏、6割のテナントが実施(昨夏の「28℃」の割合は3割)。6割のテナントが、来夏も継続の意向</p> <p>・「不在時でのこまめな空調停止の実施」については、今夏は「全エリア(100%)」での実施割合が3割から6割に増</p>
照明	<p>・昨夏は取組の少なかった、「執務室」での照明の間引きを、今夏は9割のテナントが実施(「1/2」消灯の割合が5割と最も多い)。9割のテナントが来夏も継続の意向</p> <p>・照度も、従来の「750ルクス程度以上」から「500ルクス程度以下」が主流に(昨夏は、4割のテナントが「750ルクス程度」以上であったが、今夏は、5割のテナントが「500ルクス程度」以下に)。来夏も今夏と同程度の取組が継続予定。なお、照度を把握していないテナントも3割存在</p>
コンセント	<p>・昨夏は7割のテナントで「実施無し」であった「不要時のコンセントからのプラグの引き抜き」は、今夏5割のテナントで実施(「毎日退社時」に実施する割合が3割)。来夏も今夏と同程度での対策継続の意向</p> <p>・パソコン、FAX、コピー機、プリンタ等の省エネモード設定については、「全ての機器で実施」した割合が、昨夏の4割から7割に増。来夏も、今夏と同程度での取組が継続予定</p>

27

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (2) テナントの取組 総括～自由意見で寄せられた声等より

- ・『「エネルギーマネジメントシステム」を導入いただき、空調管理を自動化することで、快適な空間を確保しつつ、エネルギー効率を向上させ、空調エネルギーを6～8%削減できた。』
- ・『節電効果の“見える化”によって、従業員への啓発活動を行いたかったが、ビルオーナーからはシステム上の問題で、ビル全体のデマンド実績の週次提供に留まった。従業員啓発促進のため、「空調温度の設定変更に伴う効果」や「テナント毎のタイムリーな実績提供(少なくとも日次、可能であれば常時)」が頂きたかった。』
- ・『4月以降、2回の節電に対する取り組み方や結果報告、他事業所との比較等の説明会を実施し、社員の節電意識を高め、節電に協力してもらった。』
- ・『何をどのように対策すればどの位使用電力が削減できるという経験値がなかったため、知恵を絞りながらやれる箇所をしらみつぶしにやっつけていかなければならなかったというのが実情』『政府からの発表がぎりぎり初めは対応の検討に苦慮したが、ビルオーナーのご担当者が順序立てて指示くださり、スムーズに節電対策を実施することができた。』
- ・『昨年までは実施していなかったが、7月から9月までの10週間にわたり冷房温度を28℃設定にし、これを確実にするため、各フロア3個の温度計を設置。毎日14時には各フロアの室温をチェックした。1℃以上設定温度を下回るエリアはエアコン温度を調整した(28℃を上回るエリアでは設定温度を下げることもあった。)。』『猛暑の場合、28℃の空調温度設定は難しい。』
- ・『物流倉庫で商品の出庫や保管をしているが、LED照明への更新は経費がかかるため照明の半分を間引きした。以前が300ルクス程度で明るすぎる感があったが今回は150ルクス程度位に。作業に問題なく、作業者からのクレームも一度もなかった。2012年度以降も今の状態を続けていく予定』
- ・『今夏の節電対策を目的とした内容ではなかったが、全体的な節電・省エネ対策として今年2月に約460個のハコゲン電球をLED電球に交換した。結果的に大幅な節電対策の一環として効果を得た。』
- ・『顧客商品(食品)保存のための2つの冷凍庫について、保存する商品を片寄せし、1箇所を完全に停止させることで冷凍庫の動力削減に成功した。』『冷蔵倉庫として使用するスペースについて設定温度を8℃から10℃に変更』『冷蔵庫・冷凍庫の温度について、食品衛生に配慮しつつ庫内温度を適正に管理。庫内の食品を整頓し、空いた機器の運転を停止』
- ・『パソコンを省電力タイプのものに変更し、一般コンセントの負荷を20%削減した。』
- ・『今夏実施した対策は、全体としては企業経営上必要なコスト削減策に相通ずるものとなった。しかし、節電のために新たに投資する場合でも、景気動向もあるため、投資額を抑制し、比較的短期に回収できることが必要』

28



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (2) テナントの取組【参考：アンケート事項一覧】

分類	対策項目	質問内容	
推進体制	オーナーとの協力	テナントからオーナーに節電対策を提案しましたか。	
	エネルギー使用量の見える化	(空調) オーナーから提供を受けた、テナントのエネルギー使用量はどのようなものでしたか。	算出方法 提供単位
		(空調以外) オーナーから提供を受けた、テナントのエネルギー使用量はどのようなものでしたか。	算出方法 提供単位
		オーナーから提供されたデータは節電に活用できましたか。	
空調	温度の適正管理	夏季の平均的な設定温度(実際の室温でも可)は、概ね何℃でしたか。	温度 範囲
	不要箇所の空調停止	空き室、不在時等にこまめに空調を停止しましたか。	停止方法 実施割合
		空調範囲が細分化されている場合、空調機スイッチに空調範囲を表示し、必要最小限の空調をしましたか。	
照明	不要箇所の消灯	使用していない場所をこまめに消灯しましたか。	消灯方法 実施割合
	不要時の消灯	照明範囲が細分化されている場合、照明スイッチに照明範囲を表示し、必要最小限の照明をしましたか。	
		屋休み等に消灯を実施しましたか。	消灯時間 エリア
		適正な照度管理	照明を、日中どの程度間引きしていましたか。
コンセント	待機電力の削減	コンセント機器について、不要時にコンセントを抜きましたか。	
	省エネモードの設定	パソコン、FAX、コピー機、プリンタ等について、省エネモードに設定しましたか。	
	トイレ便座暖房等の夏季停止	夏季にトイレ便座暖房等を停止しましたか。	洗浄便座暖房 便所洗面器給湯 エアタオル

## 1. 「大口需要家(大規模事業所)」 に対するアンケート調査結果等

### (3) 今夏の「賢い省エネ・節電対策」 の事例

～「節電アドバイス」(都実施)でのヒアリング  
事項等も踏まえて

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 今夏の取組事例

- 今夏は、緊急の節電要請であったため、追加的に実施された施策は設備更新を伴わない運用対策が主であった。
- 一方で、これまで計画的に省エネ対策や「見える化」を進めてきた事業所では、全面的な空調温度設定変更などの対策によらず結果的に大幅な節電が実現できたところも存在

### 事例紹介

- ・今夏の緊急的な運用対策事例
- ・継続的な省エネ対策の実現により大幅な節電が実現できた事業所の対策事例



東京都

31

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

### 「照明」～テナントと協働した照明照度の見直し

「照度計」貸し出しによる「実際の照度の確認」

間引きのポイントは、  
実際の照度  
(照明の配置、パーティション等の配置によって間引き可能かどうか異なる)

オーナーからテナントに照  
度計の貸し出し  
テナントエリアにおける  
照明間引きの実現へ



調光センサーによる自動制御

調光センサーの設定値変更によって照度変更が  
可能な建物では、ムラなく照度低減を実現

間引きのモデルルームで体感・納得



空きテナントスペースを  
活用し、間引きの程度3段  
階を展示

→テナントに照度を  
体感・納得していただき  
合意形成



東京都

32

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

### 「空調」～局所冷房や、設定温度ではなく「実測」で管理

必要な箇所のみ局所空調

お客様エリアでの局所冷房

・ロビー全体の空調を停止

しかし、お客様エリアとなる受付コーナーでは、冷気を感じていただくよう、氷を利用した冷風機を設置



「実測での室温管理」と「開け放し空調」の中止

「設定温度」ではなく、「実際の室温が28」になるよう管理



温度計

設定値ではなく、**実際の計測値で28**

注意：計測ポイントの設置場所の点検も重要（コピー機等排熱があたっていないか？、日射の影響がないか？、間仕切りのある場所で計測しているなど代表的な場所での計測になっていないのではないか？など）

開口部からの冷気の流出を防ぐため、「開けっ放しドア」を閉める。



東京都

33

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

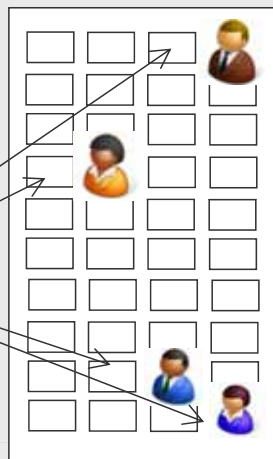
### 「対策実施への合意形成」～建物内での丁寧な取組

テナントへの個別訪問で丁寧な対応

オーナー側が、テナントに個別訪問して、節電方法を説明し、合意形成



オーナー側からテナントへ個別訪問



日頃の省エネ推進体制が功奏

既設置のテナントとの省エネ会議の場を活用し、オーナーから節電方法を説明

日頃の省エネ会議を活用



テナントからの依頼も定型フォーマットでスムーズに実施

省エネ申請書		会社名：テナントB
		担当者：省エネ太郎
月 日 - 月 日までの実施を申請します。		
実施項目	対策内容	対策効果(目安)
<input checked="" type="checkbox"/>	執務室所照明の間引き	- %
<input checked="" type="checkbox"/>	室内温度を28 設定	- %
<input type="checkbox"/>	給茶機の停止	- %
<input checked="" type="checkbox"/>	温水洗浄便座の停止	- %



東京都

34



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

### 「電力消費量等の“見える化”」の実施

テナント毎のエネルギー消費量の「見える化」

都庁舎での「見える化」

オフィスビルや商業ビルでは、エネルギー使用量の6～8割をテナントが使用

従来、電気使用状況は…月毎、テナント毎にしか、把握できない

「時間毎」「エリア毎」「用途毎」で電気使用量データを把握可能

自契約エリアの必要なデータをウェブ経由で容易に確認

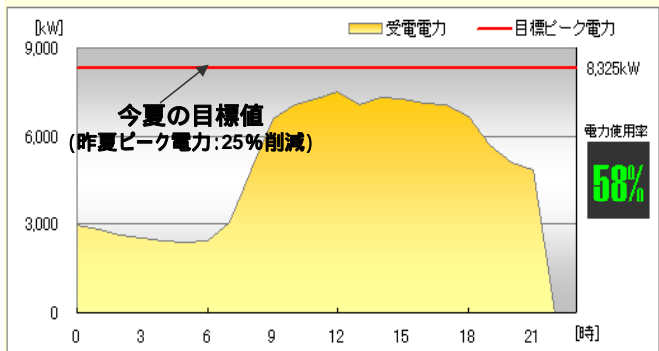
画面例：メーター毎の電力使用量の時刻別比較

東京都

森ビル「テナントWEBサービス」

「目標値」と比較して、現状の電力(kW)がどの程度になっているかの状況を、職員のPCで見られるようにした。

職員の節電対策への積極的な協力を求める上でも、「実際の成果がどうなっているのか」のデータが見られたことは有益であった。



(注)・「電力使用率」は「目標ピーク電力」に対する現在の受電電力の割合。  
・「目標ピーク電力」は、昨夏夏のピーク電力(11,100kW)の25%削減値である8,325kW。

35

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

### 「限られた電力の“使途”」を検討

～空調温度は上げない代わりに、「照明の見直し」で節電を実現

テナントの協力により、テナントエリアの照明を7割程度カット  
(大規模テナントビルの例)

・オーナーがテナントに個別調整に入る前に、既にテナント側で、間引くエリアやその他の節電対策を検討していた。

・テナントと調整のうえ、「照度補正つきの照明」では300～400ルクス程度に照度を落とすと同時に、その他の照明では間引きも実施

・結果、専用部(テナントエリア)の照度が350～400ルクス程度に下がった。

PCのディスプレイを見る作業であれば500ルクスも必要ないとの実感もあり、手元照明も必要なかったとのこと。

このため、併せて共用部の照度も見直すこととなった。

【従来照明】



【見直し後】



・夏季が終了したら、照明の間引きを元に戻す予定だったが、半分のテナントからは、現状維持でよしの回答

(テナント側の電気代削減という効果もあるが、実際にやってみると、そんなに暗いわけではない、というのが実感できたところも大きい様子)

東京都

36

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (3) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

「ICTの活用による徹底した電力の“見える化”」と効果的な節電対策の実施



### 東京大学の取組

**【成果】 最大電力 平均31%削減  
使用電力量 23%削減**  
最大電力: 4キャンパス(病院を除く)で31%削減  
(平日の平均値)

### 「電力危機対策チーム」を組織

「電気使用量の見える化」(大学HPに公表)  
・合計170点の見える化ポイント設置  
・リアルタイムでの“見える化・見せる化”を実施

活動時間のシフト  
空調の運用の効率化  
照明器具の間引きの徹底  
電算機サーバーの集約化



「東大グリーンICTプロジェクト」 <http://www.gutp.jp/>

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果等を踏まえて～

## 1. 大口需要家 (参考) 都庁舎

～ 今夏の節電にも寄与した省エネチューニングの例

●都庁舎では、庁舎の温室効果ガス排出量削減に向けて、2009(平成21)年度から省エネチューニング(設備運用改善)に取り組んできました。

●2005(平成17)年度の地球温暖化対策計画書制度(都条例)開始時の当初計画に加えて、空調吹出量のバランス再調整や空調用冷水温度管理の強化など、きめ細かなチューニングとその効果や影響を検証し、手順をマニュアル化することにより、2009(平成21)年度実績で基準年度(2006(平成16)年度)比8.2%の温室効果ガス削減を達成しています。



執務室空調吹出量調整

### 省エネチューニングの例

中間期(春秋)等の空調低負荷時に、冷水ポンプの運転方法を見直し(回転数制御)、ポンプ動力(電力使用量)及び冷熱使用量を削減

データに裏打ちされた省エネへ  
マニュアルによる「継続性」へ

(参考)

・「2009(平成21)年度 都庁の温室効果ガス排出量について」(H23/1/26 プレス)

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2011/01/2011q400.htm>

・「都庁舎における温室効果ガス総量削減義務達成に向けた取組について」(H22/5/13プレス)

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2010/05/20k5d400.htm>

東京都

空調機ファンインバータ  
調整



## 2. 「小口需要家（中小規模事業所）」 に対するアンケート調査結果

### (1) 全体傾向



東京都

## 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

### 【アンケート等実施概要】

- ・実施期間: 2011年10月7日～21日 (実施者: 東京都)
- ・調査: 今夏実施した対策等の状況と今後(来夏)の対策継続の可否等

調査対象	中小規模事業所に対する「地球温暖化対策報告書制度(都条例)」の報告書提出事業者(1099事業者(企業))に送付 1 提出義務者+任意提出者に送付 2 延べ約30,000事業所(建物・テナント)が対象 (1事業者(企業)は平均約70事業所(建物・フロア)の所有・使用分を都制度上で報告(なお、コンビニ等8事業者は1事業者(企業)平均約1100事業所分を報告)
------	--

回答数	484事業者(回収率44%) (参考: 調査票の提出は「1事業者(企業)」につき「1件の回答」を依頼) ・事業者(企業)には、大口需要家の対象施設を所有している場合がある。このため、「小口需要家」での取組状況を把握するためには、大口需要家での対策状況を分離して把握することが必要。従って、大口需要家対象施設を有する場合には「大口」として実施状況の回答を依頼。「大口需要家」の対象施設がない場合には、「小口需要家」または「テナント」としての回答を依頼 「小口」としての回答が6割 ・また、1事業者(企業)では、オフィス・テナント・サービス業・工場など、複数の建物用途の事業所を管理・使用している。このため、回答に当たっては最も事業所数の多い建物用途での実施状況について報告を依頼
-----	---

使用・管理する建物用途	回答者数	うち、「回答した「事業所」のカテゴリー		
		「大口」契約	「小口」契約	テナント等(電力契約無)
テナントビル	121(25%)	49(本用途全体の41%)	67(本用途全体の55%)	5(本用途全体の4%)
事務所	148(31%)	30( " 20%)	85( " 58%)	33( " 22%)
サービス業(卸・小売、量販店、飲食店等)	87(18%)	23( " 26%)	51( " 59%)	13( " 15%)
工場	75(15%)	20( " 27%)	53( " 71%)	2( " 2%)
その他(福祉施設、学校等)	53(11%)	21( " 39%)	29( " 55%)	3( " 6%)
計	484(100%)	143(全体の30%)	285(全体の59%)	56(全体の12%)

↑ 今回は「小口」の状況を分析



東京都



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

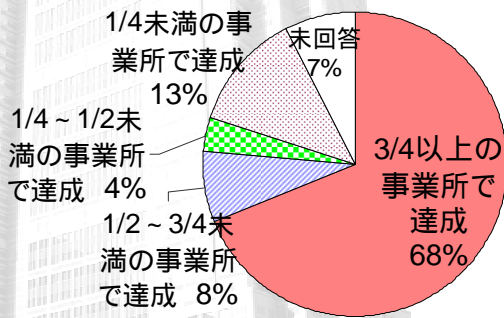
## 2. 小口需要家 (1) 全体傾向

(契約電力500kW未満の事業所)

昨夏と比べた使用最大電力15%削減の実施状況 (小口全体)

7割の事業者(企業)が、所有・使用している事業所の「3/4以上で15%以上の削減を達成」と回答

電気使用の削減率15%以上を達成した事業所の割合



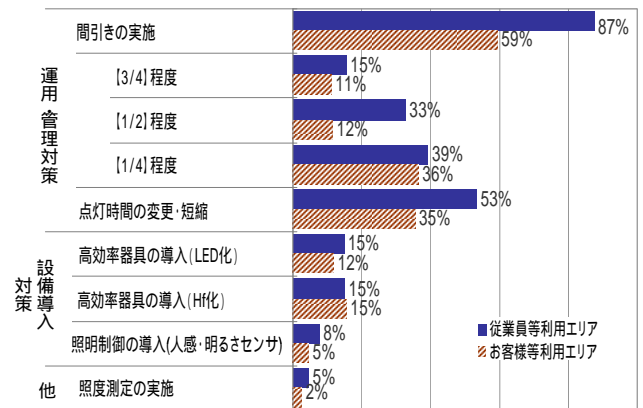
(東京都調査結果(2011年12月))



東京都

今夏の取組～「照明対策」(小口全体)

「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、多くの事業所が、照明の間引き対策を実施(「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、「1/4」程度の間引きの実施割合が高く4割で実施)。「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、「高効率器具の導入(Hf化)」や「高効率器具の導入(LED化)」実績が、1～2割存在



(東京都調査結果(2011年12月)) 41

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (2) 全体傾向

(契約電力500kW未満の事業所)

「照明照度」の見直し(小口全体)

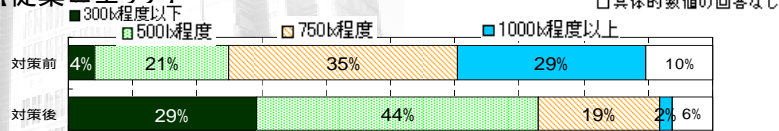
「照度測定を実施した」と回答があった事業者の状況  
【従業員エリア】 48事業者の状況  
対策前は、3割の事業者が「1000ルクス程度以上」。対策後は、2%に減少。「750ルクス程度」の事業者の割合も、対策前後で、4割から2割に低下。

「500ルクス程度」の事業者の割合も、対策前後で、2割から約5割に増加。7割の事業者が「500ルクス程度以下」へ。

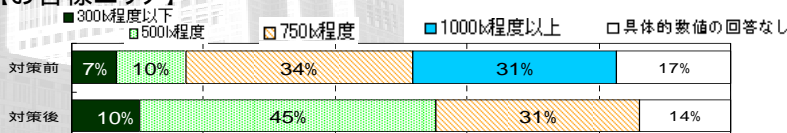
【お客様エリア】 29事業者の状況

【従業員エリア】と同じ傾向。対策前は、3割の事業者が「1000ルクス程度以上」。対策後は0%に。「500ルクス程度」の事業者の割合も対策前後で1割から約5割に増加。約6割の事業者が「500ルクス程度以下」へ。

【従業員エリア】



【お客様エリア】

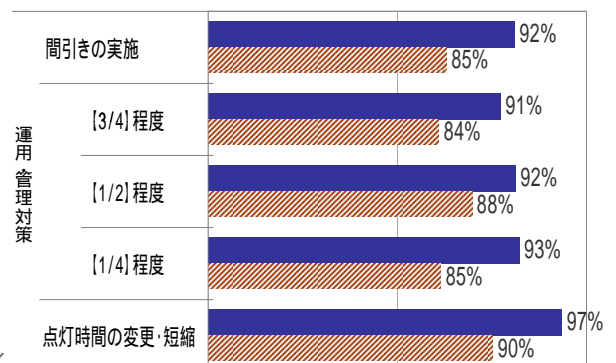


(東京都調査結果(2011年12月))

来夏の取組継続～「照明対策」(小口全体)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』」は、「従業員エリア」「お客様エリア」ともに8割以上

■従業員等利用エリア  
■お客様等利用エリア



(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

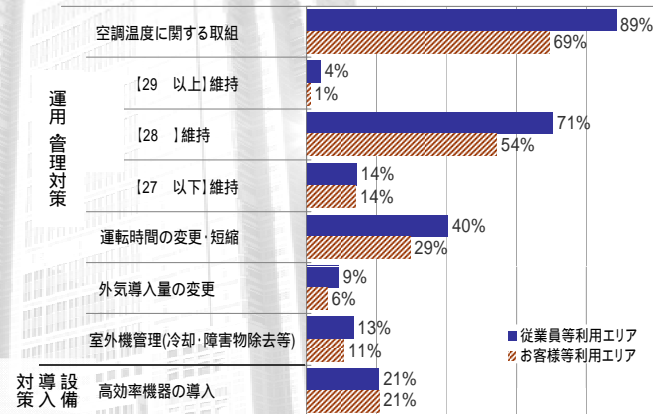
## 2. 小口需要家 (1) 全体傾向

(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の実施 ~ 「空調対策」(小口全体)

多くの事業者で、空調温度に関する取組を実施。「従業員エリア」「お客様エリア」とも、「28℃維持」の実施割合が最も高い。

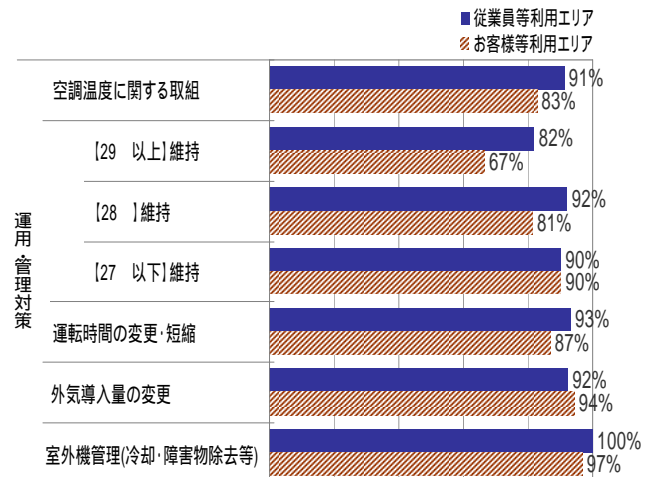
「従業員エリア」「お客様エリア」とも、2割の事業者で、高効率空調機の導入も実施された。



(東京都調査結果(2011年12月))

### 来夏の実施継続 ~ 「空調対策」(小口全体)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』」は8割以上



(東京都調査結果(2011年12月)) 43

## 2. 「小口需要家(中小規模事業所)」に対するアンケート調査結果

### (2) 「小口：テナントビル」での取組状況

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

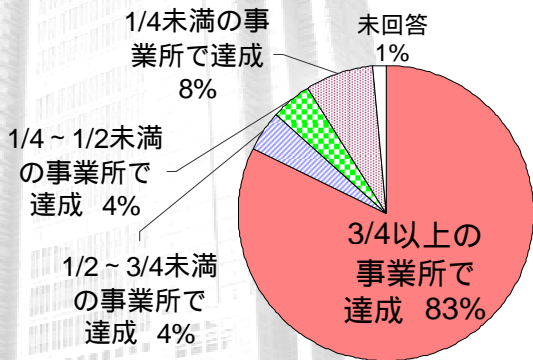
## 2. 小口需要家 (2) 「小口：テナントビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 15%削減の実施状況(小口・テナントビル)

8割の事業者(企業)が、所有・使用している事業所の「3/4以上で15%以上の削減を達成」と回答

電気使用の削減率15%以上を達成した事業所の割合



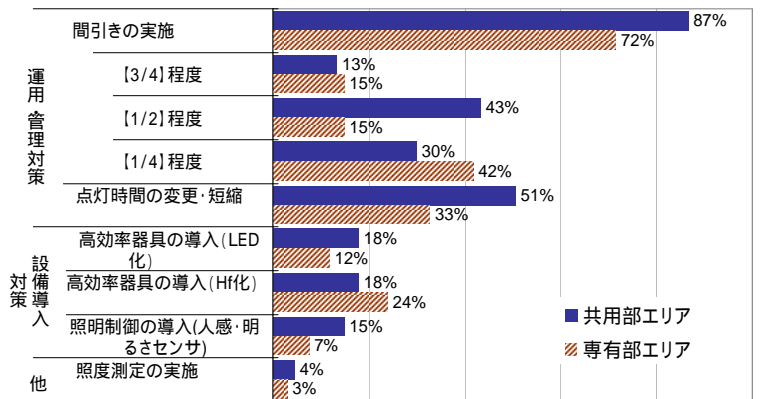
東京都

(東京都調査結果(2011年12月))

### 今夏の取組～「照明対策」(小口・テナントビル)

「共用部」「専有部(テナントエリアのこと。以下同様)」ともに、照明の間引き対策が実施(「共用部」では「1/2」程度の間引きの実施割合が高く4割で実施。「専有部」では、「1/4」程度の実施割合が高く4割の事業者で実施)

「共用部」「専有部」ともに、高効率器具の導入が1割以上存在。特に「専有部」の「高効率照明(Hf化)」の導入率はより高く、2割存在



(東京都調査結果(2011年12月)) 45

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (2) 「小口：テナントビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 「照明照度の見直し」(小口・テナントビル)

「照度測定を実施した」と回答があった事業者の状況

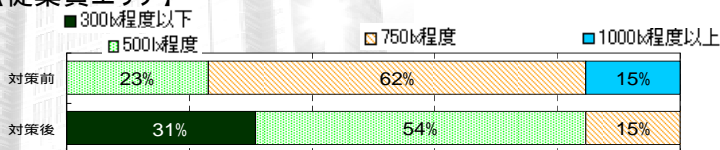
【従業員エリア】 13事業者の状況

対策前は、2割の事業者が「1000ルクス程度以上」。対策後はほぼ0%に。対策前は6割の事業者が「750ルクス程度」。対策後は5割の事業者が「500ルクス程度」へ(約9割が「500ルクス程度以下」へ。)

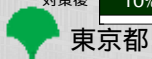
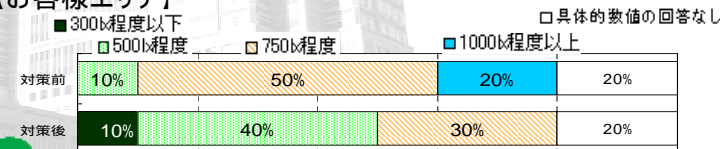
【お客様エリア】 10事業者の状況

【従業員エリア】と同じ傾向。対策前は2割の事業者が「1000ルクス程度以上」。対策後はほぼ0%に。「500ルクス程度」の事業者の割合も、対策前後で1割から4割に増加(5割が「500ルクス程度以下」へ。)

【従業員エリア】



【お客様エリア】



東京都

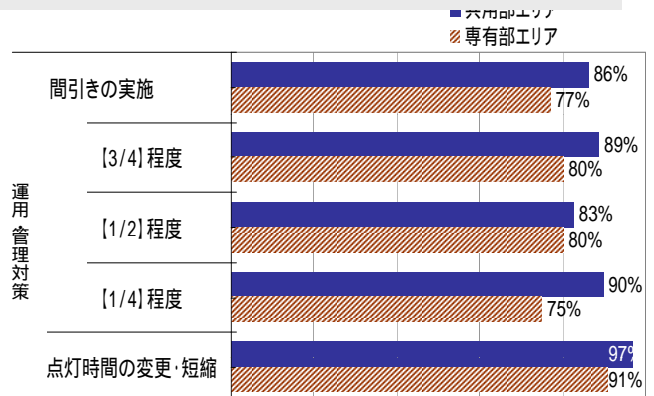
(東京都調査結果(2011年12月))

### 来夏の取組継続～「照明対策」(小口・テナントビル)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は、「共用部」「専有部」ともに約8割以上

【来夏の取組継続が困難な理由(例)】

- ・節電による、テナントへのサービス低下を懸念
- ・法的な規制がない中では、テナントの協力を得られる確証がないなど。



(東京都調査結果(2011年12月)) 46



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

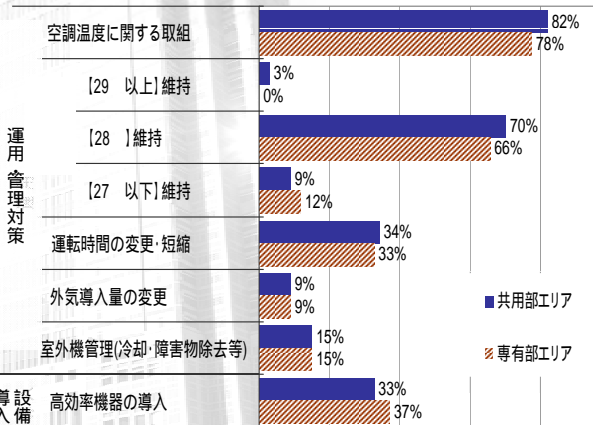
## 2. 小口需要家 (2) 「小口：テナントビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の取組～「空調対策」(小口・テナントビル)

8割の事業者が、空調温度に関する取組を実施。「共用部」「専有部」ともに、7割の事業者が「28 維持」を実施

「共用部」では3割、「専有部」では4割の事業者で、高効率空調機の導入も実施された。



(東京都調査結果(2011年12月))

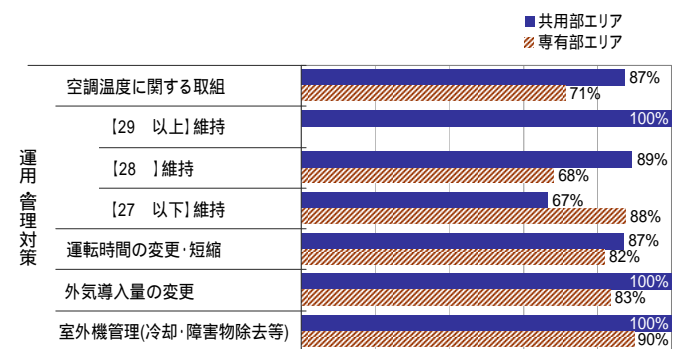
### 来夏の取組継続～「空調対策」(小口・テナントビル)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は約7割以上

「専有部」エリアでは、「28 維持」での取組継続意向は約7割。「共用部」での「28 維持」設定は9割が継続意向

[来夏の取組継続が困難な理由(例)]

- ・テナントエリアについてはビル側で強制できない。
- ・苦情が多く、昨夏の26 設定に戻したい など



(東京都調査結果(2011年12月)) 47

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (2) 「小口：テナントビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

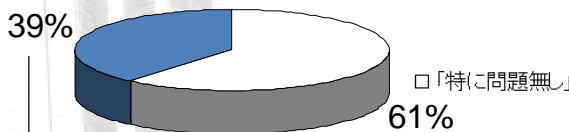
### 今夏の節電対策により生じた問題等(小口・テナントビル)

6割の事業者が「特に問題無し」と回答。4割の事業者が「問題が生じた」と認識

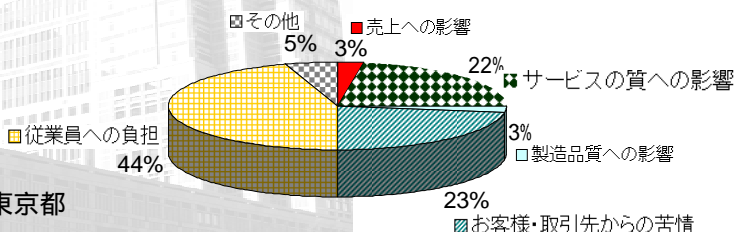
「問題が生じた」と回答した4割の事業者の意見の内容

- ✓「従業員への負担」:4割 (意見の例)空調温度上昇による影響など
- ✓「サービスの質への影響」:2割 (意見の例)共用部やテナント室内で、冷房の我慢を強いること等
- ✓「お客様・取引先からの苦情」:2割 (意見の例)室内空調温度の高め設定に関するもの等

■「問題が生じた」と認識  
(「特に問題無し」との回答をしていない事業者)



【今夏の節電対応により生じた問題の具体(複数回答集計)】



### ◆「今夏の節電対策全般を振りかえっての意見・感想」からは

・「空調は従業員の体調を考慮して実施したい。過度にはできない」「テナントが非協力的」等という意見がある一方で、

・「今までも節電してきたが、特にエアコンや照明対策で予想以上に節電できた・続けたい」「照明は慣れると不便を感じなかった」「テナントが思った以上に協力的で25%削減を達成・積極的な協力が得られた」との声もあった。

(東京都調査結果(2011年12月))

## 2. 「小口需要家（中小規模事業所）」 に対するアンケート調査結果

### (3) 「小口：オフィスビル（自社ビル）」 での取組状況



東京都

## 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

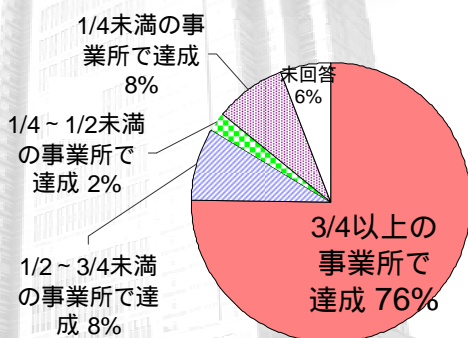
### 2. 小口需要家 (3) 「小口：オフィスビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

#### 15%削減の実施状況(小口・オフィスビル)

8割の事業者(企業)が、所有・使用している事業所の「3/4以上で15%以上の削減を達成」と回答

電気使用の削減率15%以上を達成した事業所の割合

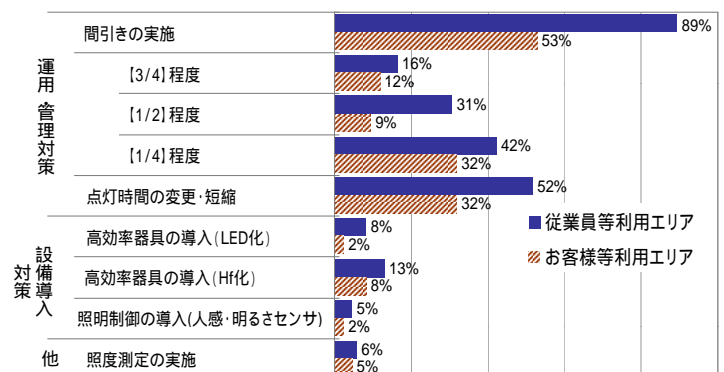


(東京都調査結果(2011年12月))

#### 今夏の取組～「照明対策」(小口・オフィスビル)

「従業員エリア」「お客様エリア(応接室・ロビー等)」ともに、照明の間引き対策が実施(「従業員エリア」「お客様エリア」とともに「1/4」程度の間引きの実施割合が高い傾向)

「従業員エリア」では、「高効率照明(Hf化・LED化)の導入」の実施率が1割程度存在。「お客様エリア」でも「高効率照明(Hf化)」の実施率が1割存在



(東京都調査結果(2011年12月))



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (3) 「小口：オフィスビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 「照明照度の見直し」(小口・オフィスビル)

「照度測定を実施した」と回答があった事業者の状況

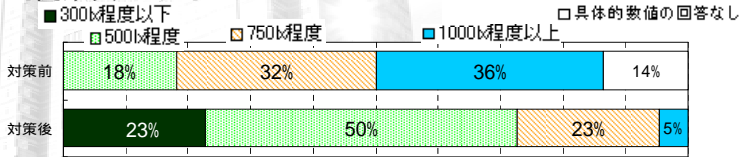
#### 【従業員エリア】 22事業者の状況

対策前は、4割の事業者が「1000ルクス程度以上」。対策後は5%程度に。「500ルクス程度」の事業者の割合も、対策前後で2割から5割に増加(7割が「500ルクス程度以下」へ。)

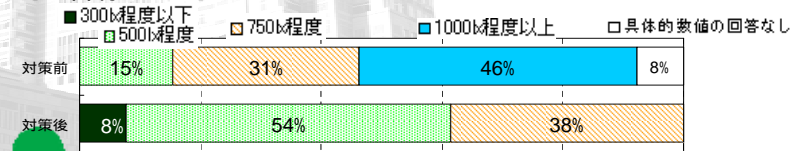
#### 【お客様エリア】 13事業者の状況

【従業員エリア】と同じ傾向。対策前は5割の事業者が「1000ルクス程度以上」。対策後はほぼ0%に。「500ルクス程度」の事業者の割合も、対策前後で2割から5割に増加(6割が「500ルクス程度以下」へ。)

#### 【従業員エリア】



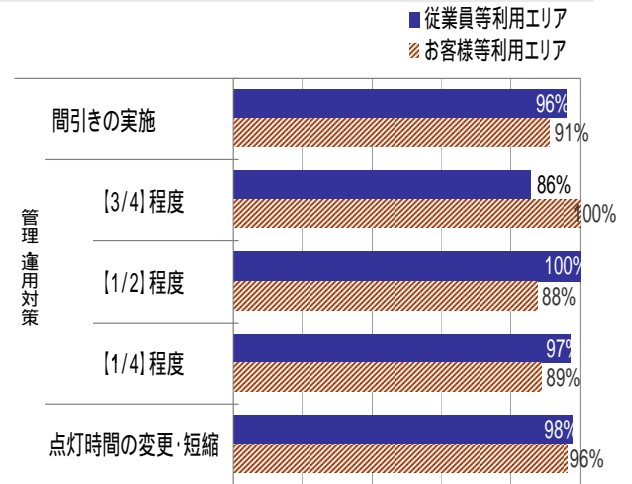
#### 【お客様エリア】



(東京都調査結果(2011年12月))

### 来夏の取組継続 ～「照明対策」(小口・オフィスビル)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は、「従業員エリア」「お客様エリア」ともに9割以上



(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

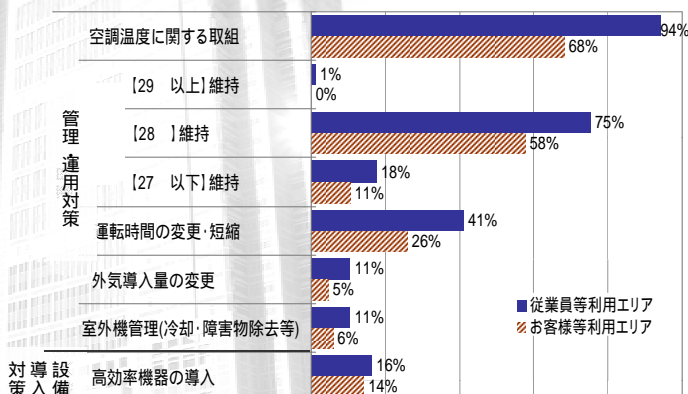
## 2. 小口需要家 (3) 「小口：オフィスビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の取組～「空調対策」(小口・オフィスビル)

「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、「28℃維持」の実施割合が最も高い。

「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、1割程度の事業者で高効率空調機の導入も実施された。



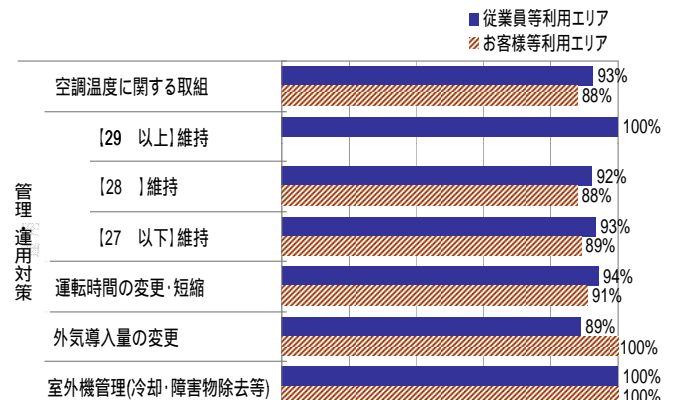
(東京都調査結果(2011年12月))

### 来夏の取組継続 ～「空調対策」(小口・オフィスビル)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は9割以上

【来夏の取組継続が困難な理由(例)】

・事務処理の効率低下、体調不調の従業員発生など



(東京都調査結果(2011年12月)) 52



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

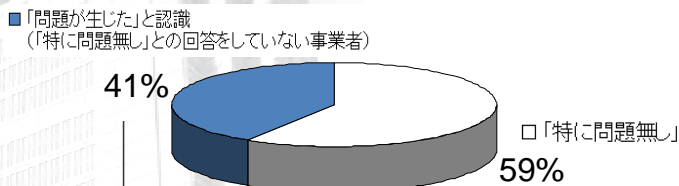
## 2. 小口需要家 (3) 「小口：オフィスビル」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

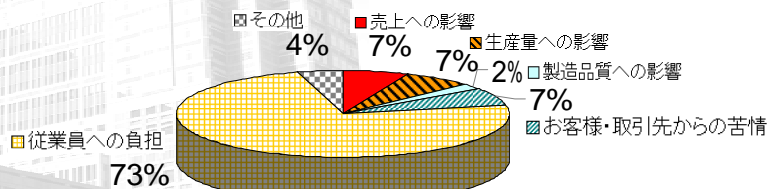
今夏の節電対策により生じた問題等(小口・オフィスビル)

6割の事業者が「特に問題無し」と回答。4割の事業者が「問題が生じた」と認識  
「問題が生じた」と回答した4割の事業者の意見の内容

✓「従業員への負担」:7割 (意見欄より)空調温度引き上げによる、体調不良の従業員の発生、  
28 の維持は業務効率低下の懸念から今夏限りとしたい、など



【今夏の節電対応により生じた問題の具体(複数回答集計)】



### ◆「今夏の節電対策全般を振りかえっての意見・感想」からは

・空調設定やエレベータの運用については、社員の負担が大きいため、来夏以降の継続は避けたいなどの意見がある一方で、

・「従業員への負担が大きかったが、社会全体の取組だったため大きな苦情がなくてすんだ」「もうこれ以上は節電はできないと今夏以前は思っていたが、まだ節電ができることがわかった」などの声もあった。

(東京都調査結果(2011年12月))



## 2. 「小口需要家(中小規模事業所)」に対するアンケート調査結果

### (4) 「小口：サービス業系」での取組状況

(飲食・娯楽・家電量販店・宿泊・コンビニ等)



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

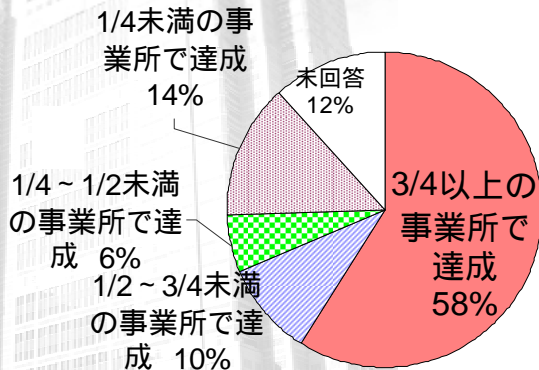
## 2. 小口需要家 (4) 「小口：サービス業系」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 15%削減の実施状況 (小口・サービス業系)

6割の事業者(企業)が、所有・使用している事業所の「3/4以上で15%以上の削減を達成」と回答

電気使用の削減率15%以上を達成した事業所の割合



(東京都調査結果(2011年12月))

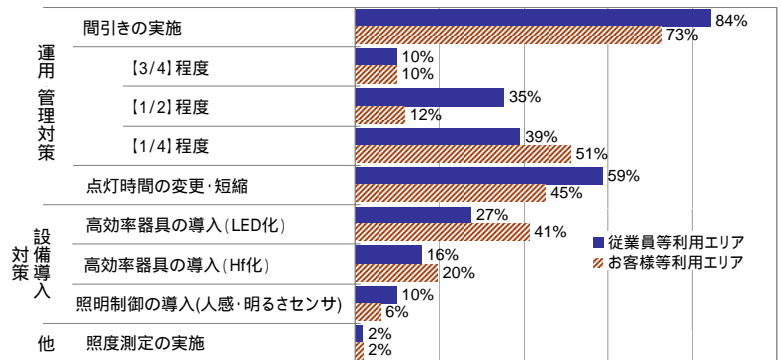


東京都

### 今夏の取組～「照明対策」(小口・サービス業系)

8割程度の事業者で、「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、照明の間引き対策を実施(「1/4」程度の実施割合が4～5割と高い傾向)

4割の事業者が「お客様エリア」で「LED照明」を導入(「従業員エリア」でも3割存在)。「高効率照明(Hf化)」の実施率も、「従業員エリア」「お客様エリア」ともに2割



(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (4) 「小口：サービス業系」での取組

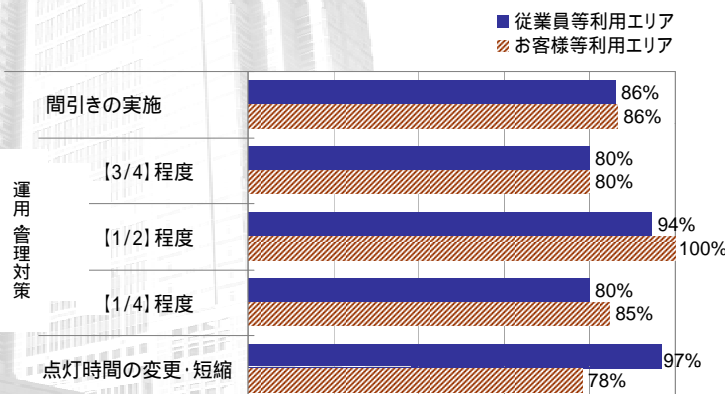
(契約電力500kW未満の事業所)

### 来夏の取組継続～「照明対策」(小口・サービス業系)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』」は8割程度

【来夏の取組継続が困難な理由(例)】

- ・お客様から商品がみえにくい。演出面から困難
- ・商品陳列照明の間引きは、商品の印象を暗くする。 など



(東京都調査結果(2011年12月))



東京都

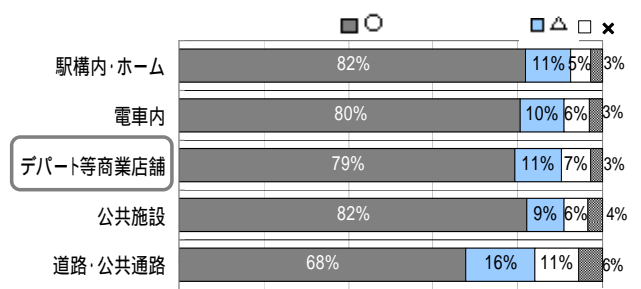
### 【参考】「街中の声」からは 詳細はp79参照

#### 今夏の実施状況(街中の明るさ)

8割が、「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」「公共施設」での照明の明るさを支持(と回答)

「今後の取組継続」についても8割が支持

#### 今夏の実施状況への印象(街中の明るさ)



(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

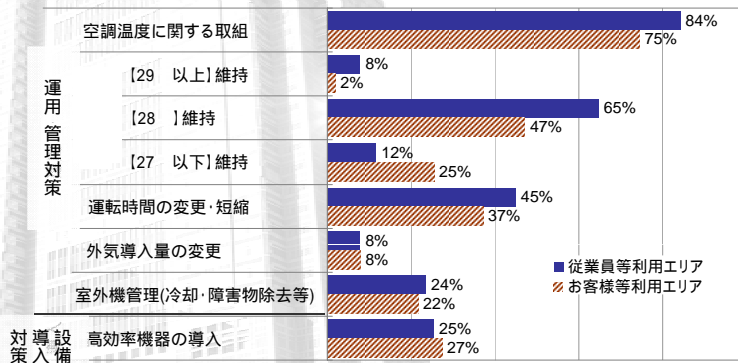
## 2. 小口需要家 (4) 「小口：サービス業系」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の取組～「空調対策」(小口・サービス業系)

8割の事業者が、空調温度に関する取組を実施(「従業員エリア」「お客様エリア」ともに「28 維持」の割合が高い。)

「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、3割程度の事業者で、高効率空調機の導入も実施された。



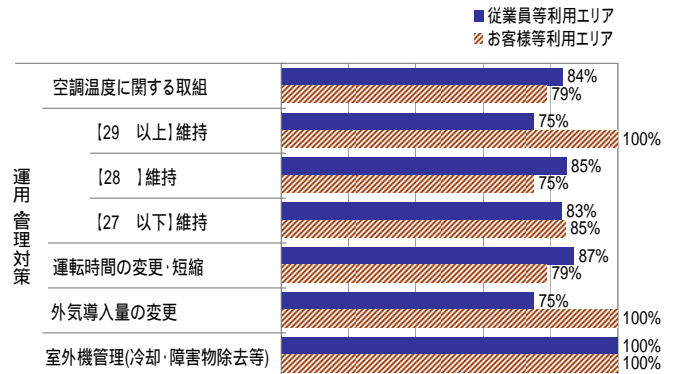
(東京都調査結果(2011年12月))

### 来夏の取組継続～「空調対策」(小口・サービス業系)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は約8割以上

【来夏の取組継続が困難な理由(例)】

・お客様から苦情もあるため28 以下を希望、猛暑時の作業効率低下の懸念 など



(東京都調査結果(2011年12月))



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (4) 「小口：サービス業系」での取組

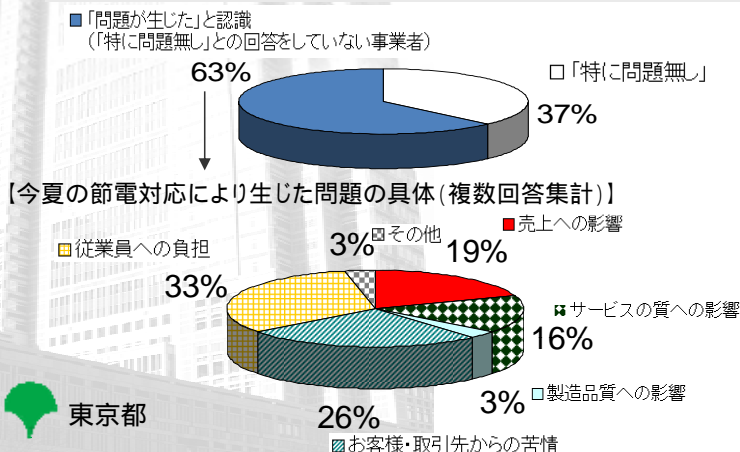
(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の節電対策により生じた問題等(小口・サービス業系)

6割の事業者が「問題が生じた」と認識。4割の事業者が「特に問題無し」と回答

「問題が生じた」と回答した6割の事業者の意見の内容

- ✓「従業員への負担」:3割 (意見欄より)28 設定は従業員にかなりの負担をかけた、など
- ✓「お客様・取引先からの苦情」:3割 (意見欄より)お客様の理解はあるも、店内が暑いという苦情も多かった。空調温度の引上げは、お客様の苦情等もあり来夏での継続は困難。照明はお客様から協力が得られると思うが、空調は御理解いただくのが困難、など
- ✓「売上への影響」:2割 (意見欄より)照度を落としたため営業していないと思われたのか売上減、暑い店内ではお客様の滞在時間が短くなる、など



東京都

(東京都調査結果(2011年12月))

### ◆「今夏の節電対策全般を振りかえっての意見・感想」からは

・「事務所部分やバックヤードの照明間引き等により電気使用のムダを見直せた」等の意見がある一方で、

・「店内で長時間作業する従業員には28 設定は負担だった」「売り場ではお客様・従業員から暑いという声が多量に上がった」などの声もあった。



## 2. 「小口需要家（中小規模事業所）」 に対するアンケート調査結果

### （5）「小口：工場」の取組状況



## 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

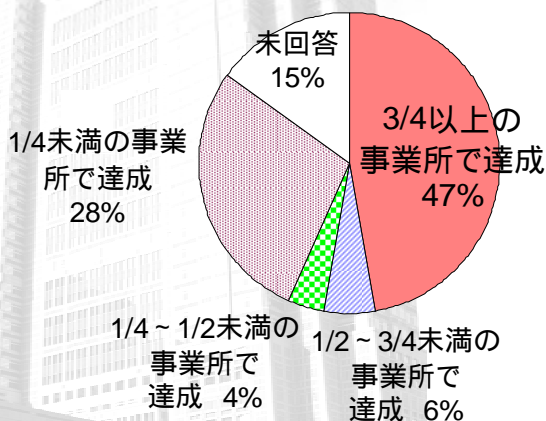
### 2. 小口需要家 （5）「小口：工場」での取組

（契約電力500kW未満の事業所）

15%削減の実施状況（小口・工場）

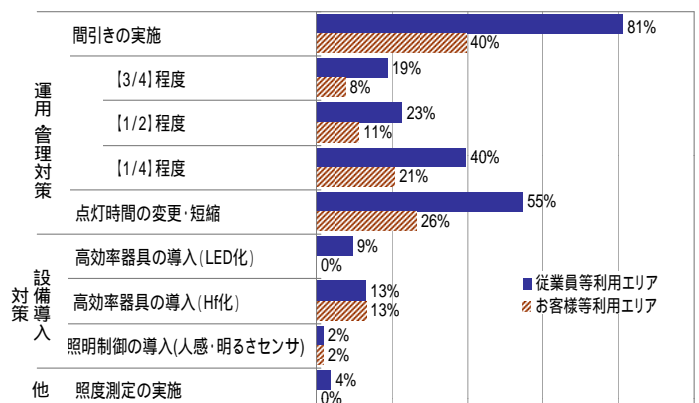
5割の事業者（企業）が、所有・使用している事業所の「3/4以上で15%以上の削減を達成」と回答

電気使用の削減率15%以上を達成した事業所の割合



今夏の取組～「照明対策」（小口・工場）

「従業員エリア」での「1/4」程度の実施割合が高く4割「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、「高効率照明（Hf化）」導入の実施率が1割存在。「従業員エリア」での「高効率照明（LED化）」の導入も1割存在



（東京都調査結果（2011年12月））



（東京都調査結果（2011年12月））

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

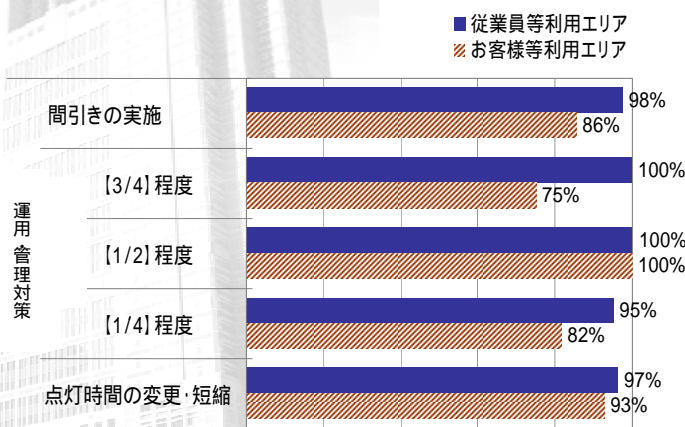
～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (5) 「小口：工場」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 来夏の取組継続 ～「照明対策」(小口・工場)

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は8割以上

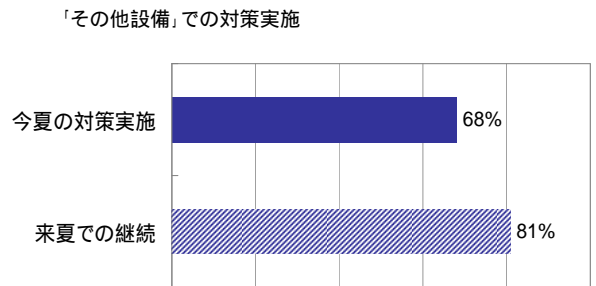


(東京都調査結果(2011年12月))

### 今夏の取組～「その他設備(照明・空調以外)」(小口・工場)

「工場」では、「照明・空調」以外の設備(生産設備等)での対策実施も7割

「『今夏、対策を実施した事業者』のうち『来夏も同程度の取組を継続する事業者』は8割



(東京都調査結果(2011年12月))



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

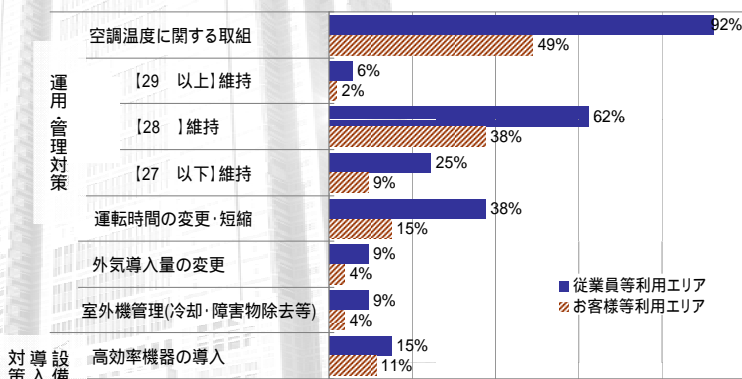
## 2. 小口需要家 (5) 「小口：工場」での取組

(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の取組～「空調対策」(小口・工場)

「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、「28 維持」の割合が高い。

「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、1割程度の事業者で、高効率空調機の導入も実施された。

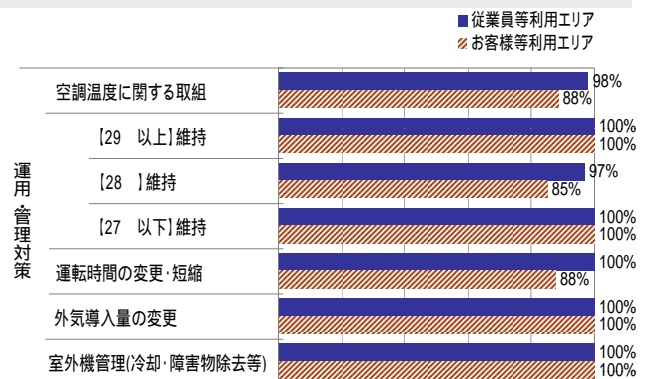


(東京都調査結果(2011年12月))

### 来夏の取組継続～「空調対策」(小口・工場)

「『今夏、対策を実施した事業者』のほぼすべてが、来夏も同程度の取組継続の意向

【来夏の取組継続が困難な理由(例)】  
・作業員の集中力が低下するため28 より下げたい、来客に対しては26 で対応したい など



(東京都調査結果(2011年12月))



東京都

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (5) 「小口：工場」での取組

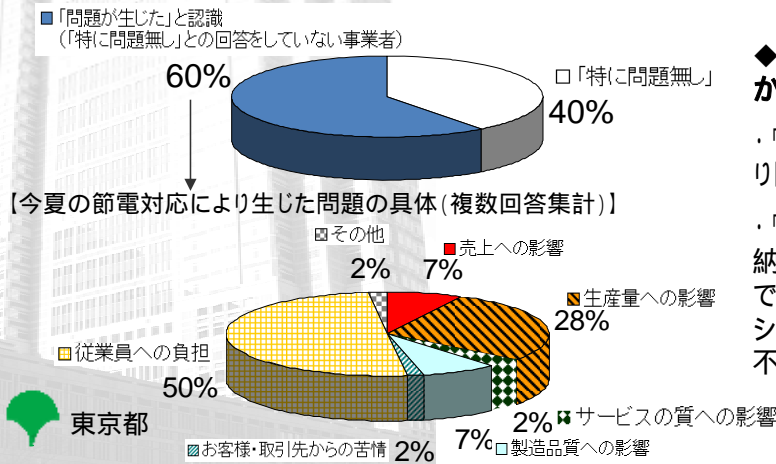
(契約電力500kW未満の事業所)

### 今夏の節電対策により生じた問題等 (小口・工場)

6割の事業者が「問題が生じた」と認識。4割の事業者が「特に問題無し」と回答

「問題が生じた」と回答した6割の事業者の意見の内容

- ✓「従業員への負担」:5割 (意見欄より) 輪番操業は従業員の負担が大きい、  
28 設定は工場内の室内温度上昇が激しく、作業中の従業員にとって  
かなり負担がかかった・運用はかなり難しい など
- ✓「生産量への影響」:3割 (意見欄より) T場稼働率の低下の点から問題が生じる など



### ◆「今夏の節電対策全般を振り返っての意見・感想」からは

- ・「従来の電気使用のムダを見直せた。事前のPRにより関係会社の協力が得られた」等の意見がある一方で、
- ・「輪番操業は従業員の負担が大きい」「時間短縮営業・納期延長依頼は、顧客は理解しているようでも許可はでにくい」「輪番による品質劣化」「夜間や早朝への営業シフトは近隣住宅との関係もあり困難」「本当に電力が不足していたのか甚だ疑問だ」などの声もあった。

(東京都調査結果(2011年12月))

## 2. 「小口需要家(中小規模事業所)」 に対するアンケート調査結果

### (6) 今夏の取組分析(小口：総括)



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括

全般	・7割の事業者(企業)が、所有・使用している事業所の「3/4以上で“15%以上の削減”を達成」と回答 ・今夏、都が特に対策実施を推奨した「照明対策」については、照度測定を実施している事業者の割合は少ないが、測定を実施した事業者での状況を見ると、「従業員エリア」「お客様エリア」ともに、対策前に存在した「1000ルクス程度」の割合が激減。5割以上が「500ルクス程度以下」へ。 ・「今夏、対策を実施」した事業者の多くが、来夏も同程度の取組を継続予定
照明	・今夏、多くの事業者が間引き対策を実施。8割以上の事業者が来夏も取組を継続する意向 ・高効率照明(LEDやHf化)などの設備導入対策を実施した事業者も1～2割存在(特に、「サービス業系」の「お客様エリア」における「LED照明の導入」は4割)
空調	・多くの事業者が「空調28 維持」を実践。2割程度の事業者が高効率空調機の設備導入も実施した。 ・8割以上の事業者が来夏も今夏と同程度の取組を継続する意向。「28 維持」については、お客様からの苦情や、工場内での作業効率の低下などの面から、「工場」「サービス業系」で継続意向が低くなる傾向
今夏の節電対策により生じた課題等	・「テナントビル」「オフィスビル」においては、それぞれ6割程度が「特に問題無し」 ・「サービス業系」では6割が「問題が生じた」と認識しており、「従業員への負担」や「お客様・取引先からの苦情」に関する割合が多い。(その理由は、空調温度設定に関するものが多い。) ・「工場」でも6割が「問題が生じた」と認識。空調温度設定や輪番操業の実施等に関する「従業員への負担」の意見が5割

65

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括

～ 自由意見で寄せられた声等より

### 【テナントビル】

- ・『各テナント共、自主的にここまでやるかと感じるくらい節電に努めた(昨年度比70%程度)』
- ・『テナントが理解を示し支障なく進められた。』『テナントの協力により節電ができた。節電する意識の高まりを感じる。』『各テナントともに協力的で節電対策を実施しやすかった。』『かなり積極的に節電を行ったが、テナントが協力的で予定通り実施することができた。社内では、今夏だけではなく、テナントに迷惑のかからない範囲で節電を継続することが必要であるとしている。』
- ・『テナントによっては同意が得られないところもあった。東京都からも通知等をしてほしい。』
- ・『各テナントでは、扇風機の利用など空調利用を控え不要な照明を消すなどしていた。設備としては、蛍光灯のHf化、高効率パッケージ型への空調機への更新を行った。』
- ・『今後デマンドコントローラーの設置などを検討中である。』
- ・『空調機が古いため、28 設定では室温が28 以上になり、従業員には負担をかけた。』
- ・『毎月の電気使用量を共用部に掲示し、節電への取組の協力を呼びかけた結果、ビル全体の使用量が下がった。今後は補助金等を活用した設備の省エネ化とデマンド管理等を導入し、更なる節電を図っていきたい。』
- ・『照明の間引きははじめ違和感があったが次第になれた。従来いかに無駄に明るくしていたのかを痛感した。』『照明の間引きは効果的であった。今までが明るすぎた。』
- ・『国民をあげての節電意識は非常に高いと感じた。節電意識をいかに次年度につなげていくかが課題である。』
- ・『経費節減ができてよかった。思ったほど影響はなかった。』『従業員の経費意識が高くなったのはよかった。』『エネルギーが無限でないことを知るよい機会となった。』

66

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括

～ 自由意見で寄せられた声等より

### 【テナント】

- ・『パソコンのON・OFFや照明の間引きなどできる範囲のことしかしていないが、驚いたのはちょっと気をつけるだけでこんなに電気使用量が違うものなのかと思った。』『空き部屋の消灯・空調オフの習慣が身について節電意識が向上した。』
- ・『大規模な設備改善を今年には行わなかったが予想以上の成果が上がった。社員一人ひとりが強く節電を意識してくれたのが大きな要因だったと思う。』『設備更新等をせずに、従業員の意識だけでも変わるという結果は、従来の電気使用の無駄を見直せた。』
- ・『大きな問題はなかったが、特にエアコンの使用抑制については社員に負担が生じていた。』『厨房については、元来、客室よりも高室温となっており、空調28 設定を保つのは難しく、労働環境の悪化になりやすい。』
- ・『空調温度28 維持は難しいと思われたが、デシカント空調機導入により湿度が下がり、座って作業していればそれほど暑さは感じなかった。他にも、照明の間引きなど、電気利用の無駄を見直せて良かった。』
- ・『エアコンの性能により、オフィス内温度差が生じてしまうため、設定温度をあげると一部箇所で高温となり、やむなく設定温度を下げざるを得ず、一部の場所では冷えすぎの状態となってしまったことが残念だった。うまく冷気を循環させるアイデアを発信してくれるとありがたい。』
- ・『エアコンは28 に設定すると室温が30 を超えることが多く、作業効率や健康面を考慮し室温が28 に保たれるよう徹底した。』『室温28 の維持は困難であったが、サーキュレーター等の使用やクールビズを行うことにより実施できた。』
- ・『昨年秋に事務フロアの照明とサーバールームの空調機を入れ替えたので無理なく節電ができた。』『照明のLED化の早期実施により、従来の電気使用の無駄を見直せた。』
- ・『店舗内ではリアルタイムでの電気使用量を把握する設備がなく困難であった。』『デマンド監視装置導入により従業員への協力が得られた。』
- ・『当初節電対策は9月末終了の予定だったが、10月以降も継続することが役員会で承認された。』
- ・『いかにいままで電気を無駄にしていたかを理解。同時にそのありがたみを再認識。節電でお客様に暗い印象をあたえてしまいがちだが、逆に、取り組んでいることを褒められることが多かった。』『小さな事業所なので節電の法的義務はなかったが、節電したことは意義があったと思う。』

67

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括

～ 自由意見で寄せられた声等より

### 【オフィスビル】

- ・『照明の間引きは慣れると不便を感じず、電気使用量の無駄を見直せた。』『3/4の間引きは従業員に負担がかかるので来夏は1/2としたい。』
- ・『扇風機の併用が効果大なので来夏も継続したい。』『外気温度が30 を超えると体調不良を訴えるものがでたので、室温を26 まで下げることにした。しかし、空調機の温度設定のほか、待機電力の削減や使用していない照明・エアコン等の電源をオフにするなど色々全社で取り組むことにより、今夏(7 9月)の電気使用量は前年度同月比30%削減できた。いままでもいかに無駄が多かったかが理解できた貴重な経験だった。』
- ・『各室への温湿度計の取り付け、空調噴出し口に天井ファンの取り付け等に取り組んでみて、来夏も継続して節電に取り組んでいく予定』
- ・『会社全体に節電意識が高まった。空調温度設定により予想以上の削減ができたが、来夏が今年以上の猛暑になった場合には更なる対策が必要』
- ・『空調スペースは28 設定にしたが、湿度の状態によって体感温度が異なるため、効率よく仕事を進めるためにも湿度管理も必要だと感じた。』
- ・『来年度以降も効率よく節電を実施していくためにも省エネ診断を実施する。エネルギー管理士からの確かな提案をいただいて、電力だけではなく恒久的な省エネにつなげたい。』
- ・『デマンド監視やモニター設置による「見える化」が使用電力の削減に役立った。』
- ・『建物共用部の照明、間引き点灯やエアコン設定温度を28 に保つなどして、7-10月分電力使用量を前年度比で18%削減した。今回の対策をきっかけに来年も継続したい。』
- ・『照明の高効率化をより推進したい。』『1~3月にかけて都の助成金事業による高効率空調設備への更新並びにHf蛍光灯器具への更新を実施した。これによる節電効果の大きさとともに、運用面でも温度設定や照明間引きなどにより節電効果が得られた。』
- ・『普段の電気使用量を見直す機会になった。できる限り来夏も節電したい。』

68



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括

～ 自由意見で寄せられた声等より

### 【飲食店】

- ・『15%下げるのは既存の設備により大きく差が出る。』
- ・『照明を間引きしても影響ないなど無駄の発見はできた。省エネ機器本格導入のきっかけとなった。照度基準の見直しが必要と感じた。』
- ・『空調温度設定の引き上げはお客様からの苦情等もあり来年の継続は難しい。』

### 【コンビニ等】

- ・『節電を来年も実施するためには、今年のように共通の目標があったほうが実施しやすい。公平・明確な目標だとお客様の理解を得やすいし、従業員に指導しやすい。また手段・方法も検討しやすい。』
- ・『全体的に節電の必要性が報道されていたため、お客様のご理解は多かったが、店舗内が暑いという苦情も多くあった。暑い店内ではお客様の滞在時間も短くなる。』
- ・『近隣をみても企業による節電努力の差が大きく、企業側として少なからず不公平感を感じた。』
- ・『初夏は冷凍冷蔵設備の設定温度を2度高めに設定していたが盛夏になると商品の品質管理上難しくなった。思ったより外気の流入が電気の消費量に影響することがわかったので来夏はそのあたりの対策が打てればよいと思う。』

### 【宿泊施設】

- ・『お客様のご理解とご協力が必要となってしまう部分もあるが、運営のソフト面と設備のハード面を駆使し、節電により一層取り組んでいきたい。』
- ・『営業していないと思われレストランの売上に影響した。節電無視の全灯しているホテルにお客様を取られるのは悔しい。』
- ・『お客様から、部屋が暑い、廊下が暗いなどのクレームもなく、節電効果はあがったと感じる。』
- ・『照明に関してはお客様からの協力も得られると思うが、空調に関しては御理解いただくのは困難』

69

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括

～ 自由意見で寄せられた声等より

### 【家電量販店等】

- ・『照明の間引きは慣れると不便を感じなくなったため、従来の電気使用の無駄を見直せた。』
- ・『店内の間引き照明により室温が下がり、空調温度の引き上げが無理なくできた。』
- ・『従業員へかなり負担を強いたと思うが、社名入りのクールビズユニフォームの着用によりお取引先様にも好評で、従業員からも動きやすいと声が上がったり、社内に節電しながら夏を乗り切る団結感が感じられた。』
- ・『空調も古いものから省エネ冷暖房機に入れ替え、経費の節約にもつながっている。設備費を考えるとすぐに結果がでるものではないが、省エネ機器を使用することによって長期節約にもつながると考えている。』
- ・『事業所毎の違いを感じた。計画停電による、停電経験地域と、計画停電除外地域では危機感に差が出てしまったことが課題となった。』

### 【娯楽・サービス施設】

- ・『照明は最小限、エアコンは夕方切るなどしたため、電気量をさげることができ、今までの無駄な使用を実感した。』
- ・『照明の間引きは慣れてくると不便を感じず、従来の電気使用を見直せた。空調温度引き上げはお客様からの苦情もあった。』
- ・『お客様も従業員も理解を示してくれ、事業に支障はきたさなかった。また景気低迷による売上減退のなか、合理的なコスト削減ができ、収益改善にも役立った。』
- ・『冷房設備がガス式のため、大規模な削減とはいかなかったが、照明の間引きで最低限の照明でも十分仕事に支障なく行えることを認識できた。』

70



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 (6) 「小口」総括 【工場】

～ 自由意見で寄せられた声等より

- ・『電気使用量の無駄を見直せた。電気のスイッチオフの癖がついた。』
- ・『照明の間引きは、当初は暗く感じたが慣れてくると作業にも影響がないため、今後も継続していく。冷房温度28 設定は、室内温度の上昇が激しく運用がかなり厳しいと感じた。今後に向けて更なる工夫の必要性を感じた。』
- ・『冷房時の室温28 は思いのほか節電に効果的だったし、照明の間引きも大きかった。』『30分デマンドをリアルタイムで測定・見える化したことが、従業員を含めた全員の理解を得るのに役立った。』『空調の間引き運転は効果的だった。』
- ・『夜間・深夜時間帯に製造・出荷できれば更なる節電効果が期待できたとされるが、工場の場合、民家住宅が隣接しており苦情・トラブルになる可能性があり実施は見送った。』
- ・『輪番操業について、消費期限の短い製品が多くほぼ毎日の生産でないと品質劣化が起こりうる。ピーク時間をずらし製造することも考慮したが、近隣の住宅事情もあり、夜間・早朝の操業は難しいと思われる。夏季は時期的にも生産がピークになる時期であるため、今回実施した対策は、操業を落とすことではなく、空調温度設定変更と間引き点灯が主となった。』
- ・『最大取引先が輪番操業を行ったため、併せて休日営業、平日休みを行ったが、その他の取引先と問題が生じないよう、工夫が必要だった。』『時間短縮営業、納期延長依頼は顧客にとっては理解しているようでも許可はでにくく、その都度対応する接客係は負担になった。』
- ・『夏休みも輪番で取得させたため負担が大きかった。協力会社の協力も得られたのは事前のPRがよかった。』
- ・『今夏は売上が例年の30%以下のため、工作機・エアコン等の稼働時間が極端に減り、省エネにつながった。来夏の売上が例年に戻ると15%節電が少しづつになるが、今秋、エアコン・照明の助成事業による省エネ機器導入工事が完了するため、今後の省エネに貢献できるとしている。』
- ・『冷蔵庫冷凍庫内の整理整頓をして、各1台を停止することをテストした。また昨年から本年にかけて、冷凍庫と大型冷蔵庫を更新したため、冷蔵及び冷凍能力が効率的になったことなどにより節電が実現。』
- ・『空調設備が導入後18年を経過しており、高効率空調機への入れ替えを検討している。』
- ・『いままでも大口需要家契約だったが、これを機に小口需要家契約に見直すことができた。』
- ・『労働時間の変更や休日作業、施設稼働時間変更に伴う近隣住民との調整など、運転計画を立てる上で色々な努力を要したことは十分に理解・受け止めていただきたい。』

71

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 2. 小口需要家 【参考：アンケート事項一覧】

削減	対象事業所のうち電気使用量の削減率15%以上を達成した事業所の割合		多くの事業所で達成(3/4以上) 半数以上の事業所で達成(1/2以上3/4未満) 半数未満の事業所で達成(1/4以上1/2未満) 多くの事業所で達成しなかった(1/4未満)	
	削減	削減	削減	削減
照明	従業員等利用エリア	運用・管理対策	間引き点灯(消灯率3/4程度)	今夏実施 来夏継続の可否
		間引き点灯(消灯率1/2程度)	今夏実施 来夏継続の可否	
		間引き点灯(消灯率1/4程度)	今夏実施 来夏継続の可否	
		点灯時間の変更・短縮	今夏実施 来夏継続の可否	
		その他	今夏実施 来夏継続の可否	
		来夏継続が困難な対策がある場合その理由		
	入設備策	高効率器具の導入(LED化)	今夏実施	
	高効率器具の導入(HF化)	今夏実施		
	照明制御の導入(人感・明るさセンサー)	今夏実施		
	照明測定の実施の有無			
	「有り」の場合:対策前の照度の値と、対策後の照度の値			
	お客様等利用エリア	運用・管理対策	間引き点灯(消灯率3/4程度)	今夏実施 来夏継続の可否
間引き点灯(消灯率1/2程度)	今夏実施 来夏継続の可否			
間引き点灯(消灯率1/4程度)	今夏実施 来夏継続の可否			
点灯時間の変更・短縮	今夏実施 来夏継続の可否			
その他	今夏実施 来夏継続の可否			
来夏継続が困難な対策がある場合その理由				
入設備策	高効率器具の導入(LED化)	今夏実施		
高効率器具の導入(HF化)	今夏実施			
照明制御の導入(人感・明るさセンサー)	今夏実施			
照明測定の実施の有無				
「有り」の場合:対策前の照度の値と、対策後の照度の値				
空調	従業員等利用エリア	運用・管理対策	空調設定温度維持(29℃以上)	今夏実施 来夏継続の可否
		空調設定温度維持(28℃)	今夏実施 来夏継続の可否	
		空調設定温度維持(27℃以下)	今夏実施 来夏継続の可否	
		空調運転時間の変更・短縮	今夏実施 来夏継続の可否	
		外気導入量の変更	今夏実施 来夏継続の可否	
		室外機管理(冷却・障害物除去等)	今夏実施 来夏継続の可否	
	その他	今夏実施 来夏継続の可否		
	来夏継続が困難な対策がある場合その理由			
	入設備策	高効率機器の導入	今夏実施	
	その他	今夏実施		
	お客様等利用エリア	運用・管理対策	空調設定温度維持(29℃以上)	今夏実施 来夏継続の可否
	空調設定温度維持(28℃)	今夏実施 来夏継続の可否		
空調設定温度維持(27℃以下)	今夏実施 来夏継続の可否			
空調運転時間の変更・短縮	今夏実施 来夏継続の可否			
外気導入量の変更	今夏実施 来夏継続の可否			
室外機管理(冷却・障害物除去等)	今夏実施 来夏継続の可否			
その他	今夏実施 来夏継続の可否			
来夏継続が困難な対策がある場合その理由				
設備策	高効率機器の導入	今夏実施		
その他	今夏実施			
その他	※該当設備がある場合 エレベータ、エスカレータ、自動販売機での対策 その他の設備での対策			
全般	今夏の節電対応により生じた問題(複数回答可) 特に問題なし、売上への影響、生産量への影響、サービスの質への影響、製造品質への影響、お客様・取引先からの苦情、従業員への負担、その他 節電対策全般を振り返っての意見・感想(自由意見)			

## 2. 「小口需要家（中小規模事業所）」 に対するアンケート調査結果等

### (7) 今夏の「賢い省エネ・節電対策」 の事例

～ 自由意見欄からの声等を踏まえて



東京都

73

## 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～ 都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

### 2. 小口需要家 (7) 「賢い省エネ・節電対策」の事例

照明間引きやパソコンの省エネモード設定、冷凍庫・冷蔵庫の庫内整理による未使用機の創出など、きめ細やかな取組を実施

「まずはやってみる」という姿勢が結果をだす。(『照明の間引きは慣れると不便を感じず、電気使用量の無駄を見直せた。』『冷蔵庫冷凍庫内の整理整頓をして、各1台を停止することをテストした。』『パソコンのON・OFFや照明の間引きなどできる範囲のこじかしていないが、驚いたのはちょっと気をつけるだけでこんなに電気使用量が違うものなのかと思った。』)

#### 空調温度：「設定温度」ではなく「実際の室温が28」になるよう管理

「28 設定」にしたときに、実際の室温がそれ以上になっていないかを確認して、室温が28 になるようにきめ細やかに管理(『エアコンは28 に設定すると室温が30 を超えることが多く、作業効率や健康面を考慮し室温が28 に保たれるよう徹底した。』『室温28 の維持は困難であったが、サーキュレーター等の使用やクールビズを行うことにより実施できた』)

#### 空調温度変更が困難な場合でも、その他対策の徹底で節電を実現

『外気温度が30 を超えると体調不良を訴えるものがため、室温を26 まで下げることにした。しかし、空調機の温度設定のほか、待機電力の削減や使用していない照明・エアコン等の電源をオフにするなど色々全社で取り組むことにより、今夏(7 - 9月)の電気使用量は前年度同月比30%削減した。』

#### 計画的な省エネ投資の結果もあり、今夏の節電をクリアー

『昨年秋に事務フロアの照明とサーバールームの空調機を入れ替えたので無理なく節電ができた。』『照明のLED化の早期実施により、従来の電気使用の無駄を見直せた。』

#### 対策実施による副次的効果も発生

『景気低迷による売上減退のなか、合理的なコスト削減ができ、収益改善にも役立った。』『設備更新等をせずに、従業員の意識だけでも変わるという結果は、従来の電気使用の無駄を見直せた。』『普段の電気使用量を見直す機会になった。できる限り来夏も節電したい。』『各テナント共、自主的にここまでやるかを感じるくらい節電に努めた。』『(テナント側での)節電する意識の高まりを感じる。』



74

### 3. 「街頭アンケート調査」結果

- (1) 「家庭」での取組状況
- (2) 「街中での対策」への印象



## 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

### 3. 「街頭アンケート調査」

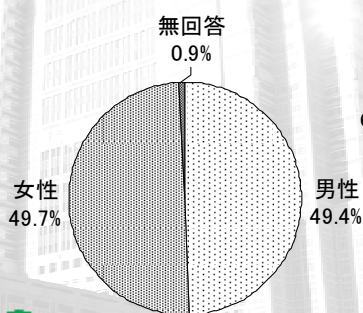
#### 【アンケート等実施概要】

- ・実施期間：2011年10月中旬～11月上旬（実施者：東京都）
- ・調査：①今夏、「家庭」で実施した対策と今後の対策継続の可否  
②今夏の「街中」での節電対策に関する印象と、今後の対策継続の可否
- ・回答者数：市民5276名に街頭で面談調査

< 回答者の属性等 >

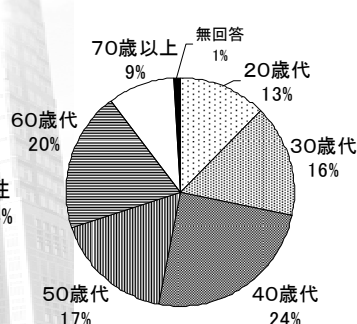
#### ●男女比

半数ずつ



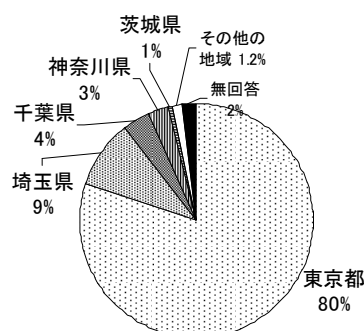
#### ●年代

40代と60代で約5割



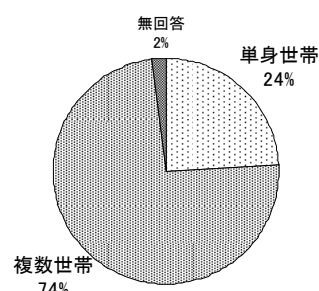
#### ●居住地

8割が都内。ほぼ全てが、近県を含めた首都圏在住者



#### ●世帯構成

複数世帯が7割。単身世帯が2割  
(全国の状況に類似。都内の場合、単身世帯の割合が4割)





# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

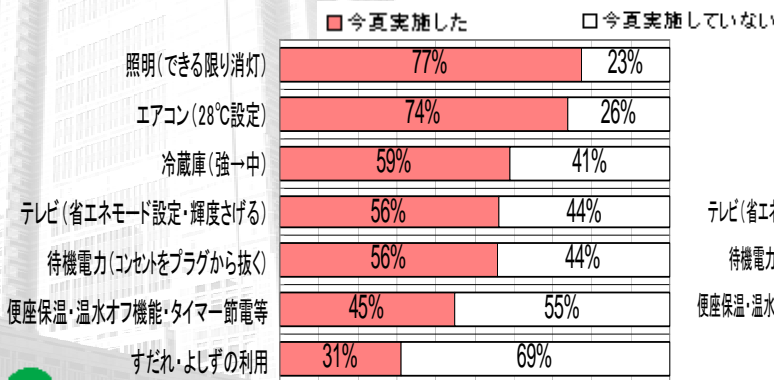
～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. (1) 「家庭」での取組

### ①今夏の節電対策の実施状況

- 7割の家庭で、不要な照明の消灯やエアコン28℃が実践
- 「冷蔵庫の庫内温度設定の変更」や「テレビの省エネモード設定」、「待機消費電力の削減」の実施率も6割(4割は今夏未実施)
- すだれやよしずを利用した家庭も3割存在

今夏の家庭における節電対策の実施状況



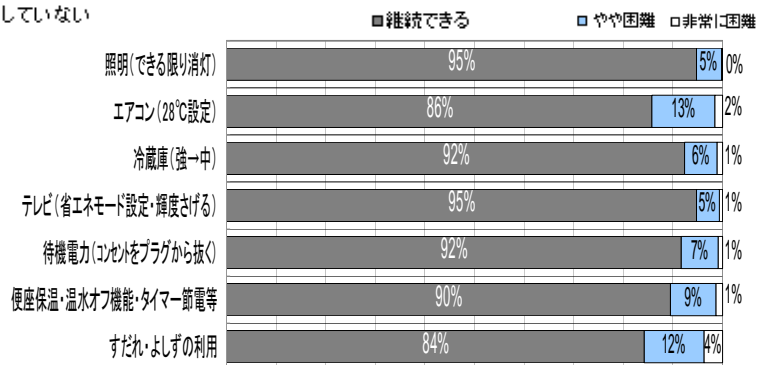
(東京都調査結果(2011年12月))

### ②今後の家庭における取組の継続

- 「今夏、対策を実施した家庭」の9割が、「今後も取組継続」の意向

今後の家庭における取組の継続

<今夏取組を実施した回答者からの回答分析>



(東京都調査結果(2011年12月))

77

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. (1) 家庭での取組 総括

### 全般

#### 【今夏の実施状況】

- ・7割の家庭で、不要な照明の消灯やエアコン28℃が実践。
- ・「冷蔵庫の庫内温度設定の変更」や「テレビの省エネモード設定」、「待機消費電力の削減」の実施率も6割(4割は今夏未実施)。
- これらの取組は、家庭の電力量(kWh)の削減(省エネ・省コスト)にも寄与する、「過大な負担を要しない取組」であるため、今冬も対策実施に向けた普及啓発を実施。

#### 【今後の取組の継続】

- ・「今夏、対策を実施した家庭」の9割が「今後も取組継続」の意向

#### 【参考:「東京都家庭の節電アドバイザー事業」の節電アドバイザーからの意見等】

- ・家庭の取組成果を知りたいという意見があった、とのこと。(最大電力の削減効果や、電力消費量の削減・光熱費の削減効果など。特に、最大電力の削減効果については、どの程度電力不足に貢献できているのかが不明、との意見も)
- ・また、テレビ番組等で一定の対策は周知されていたことなどから、LED照明の選び方など、より詳細かつ具体的な対策提案を期待されることが多い。など

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

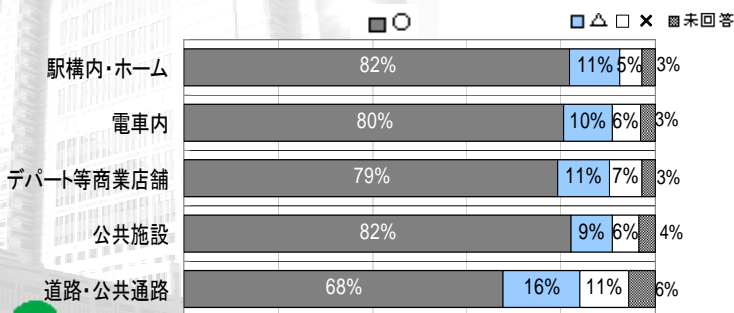
## 3. (2) 街中での対策への印象 街中の明るさ

### ①今夏の実施状況(街中の明るさ)

- 8割が、「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」「公共施設」での照明の明るさ(照度の見直し)を支持(○と回答)
- 「道路・公共通路」での支持率が7割存在するが、駅構内等の支持割合と比較して下がる傾向(支持度合いを△とした回答も2割存在)

【留意】「道路・公共通路」の照明については、「道路」または「公共通路」のいずれに対する意見が多いのかが不明。今後の取組の参考情報とするためには、今冬実施する調査において、回答項目を分けるなどして行う予定(理由:計画停電実施から今夏、都へ寄せられた声では、道路や公共通路の照明の消灯の必要性に関する意見も少なからずあったため。)

今夏の実施状況への印象(街中の明るさ)



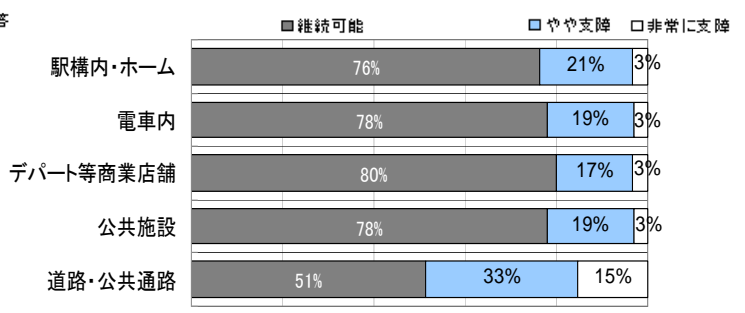
東京都

(東京都調査結果(2011年12月))

### ②今後の取組継続(街中の明るさ)

- 「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」「公共施設」での明るさについて、8割が「今後も継続可能」と支持
- 「道路・公共通路」の照明の明るさについての「継続可能」との回答は約5割となり、駅構内等での対策実施支持割合と比較して下がる傾向(今後の取組継続について「やや支障あり」との回答が約3割、「非常に支障あり」との回答も約2割存在)

今後の取組継続(街中の明るさ)



(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

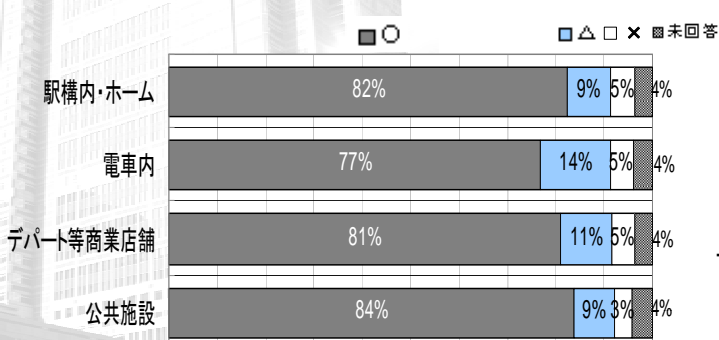
～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. (2) 街中での対策への印象 空調温度(28 )

### ①今夏の実施状況(街中での空調(28 ))

- 8割が、「駅構内・ホーム」「商業施設」「公共施設」での空調28 を支持(○と回答)
- 「電車内」での支持率が8割存在するが、同時に、支持度合いが△との回答も14%存在

今夏の実施状況への印象(街中での空調(28 ))



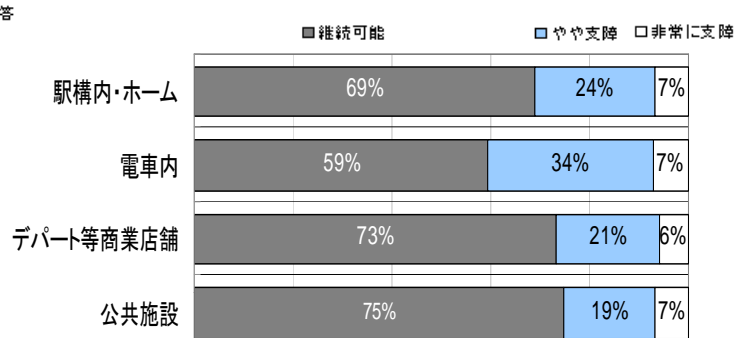
東京都

(東京都調査結果(2011年12月))

### ②今後の取組継続(街中での空調(28 ))

- 「駅構内・ホーム」「商業施設」での空調28 について、7割が「今後も継続可能」と支持。「公共施設」については8割が支持
- 「電車内」の空調28 についての「継続可能」との回答は約6割となり、駅構内等での対策実施支持割合と比較して下がる傾向(今後の取組継続について「やや支障あり」との回答も3割存在)

今後の取組継続(街中での空調(28 ))



(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. (2) 街中での対策への印象

### エレベータ/エスカレータの運転台数の削減

#### ①今夏の実施状況

(街中のエレベータ/エスカレータの運転台数の削減)

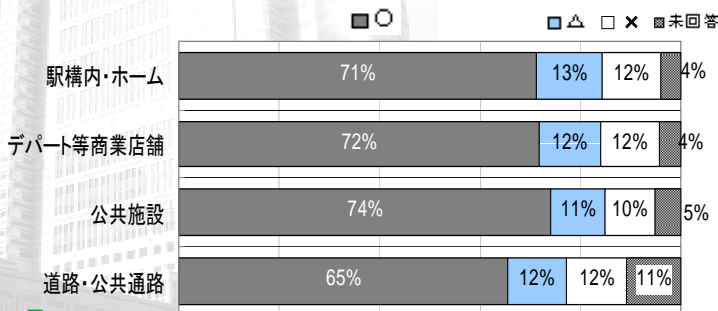
- 7割が、「駅構内・ホーム」「商業施設」「公共施設」「道路・公共通路」での、エレベータ/エスカレータの運転台数の削減を支持(○と回答)
- 同時に、支持度合いが△や×との回答も、それぞれ1割ずつ存在

#### ②今後の取組継続

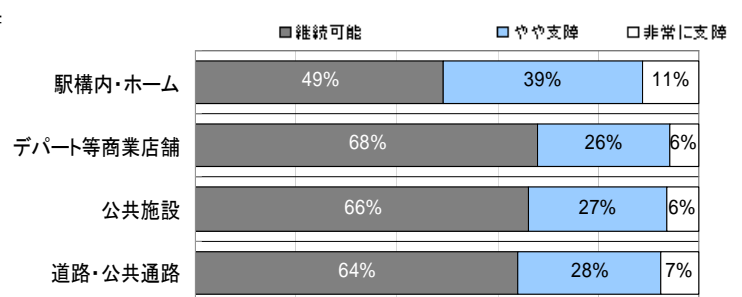
(街中のエレベータ/エスカレータの運転台数の削減)

- 「商業施設」「公共施設」での取組継続について、7割が「今後も継続可能」と支持
- 「駅構内・ホーム」での取組継続についての「継続可能」との回答は5割となり、4割は「やや支障あり」との回答(他と比べ、「やや支障あり」の回答割合が高い傾向)

今夏の実施状況への印象  
(街中のエレベータ/エスカレータの運転台数の削減)



今後の取組継続  
(街中のエレベータ/エスカレータの運転台数の削減)



東京都

(東京都調査結果(2011年12月))

(東京都調査結果(2011年12月))

# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. (2) 街中での節電対策への印象

### 総括

街中の明るさ

#### <今夏の対策>

- ・8割が、「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」「公共施設」での照明の明るさ(照度の見直し)を支持(○と回答)
- ・「道路・公共通路」での支持率も7割存在するが、駅構内等の支持割合と比較して下がる傾向(支持度合いを△とした回答も2割存在)。

#### <今後の取組継続>

- ・「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」「公共施設」での照明の明るさについて、8割が「今後も継続可能」と支持。今後の取組継続も支持する傾向。
- ・「道路・公共通路」の照明の明るさについて、「今後も継続可能」との回答は約5割となり、駅構内等での対策実施支持割合と比較して下がる傾向(今後の取組の継続について「やや支障あり」との回答が約3割、「非常に支障あり」との回答も約2割存在)

#### 「道路・公共通路」の照明について

来夏の継続への全面的な支持は低い傾向にあるが、これについては、「道路」または「公共通路」のいずれに対する意見が多いのかが不明。今後の取組の参考情報とするためには、今冬実施する調査において、回答項目を分けるなどして行う予定(理由:計画停電実施から今夏、都へ寄せられた声では、道路や公共通路の照明の消灯の必要性に関する意見も少なからずあったため。)



東京都



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. (2) 街中での節電対策への印象 総括

<p>街中での空調28</p>	<p><b>&lt;今夏の対策&gt;</b>                  ・8割が、「駅構内・ホーム」「商業施設」「公共施設」での空調28 を支持(○と回答)                  ・「電車内」での支持率も8割存在するが、同時に、支持度合いが△との回答も14%存在</p> <p><b>&lt;今後の取組継続&gt;</b>                  ・「駅構内・ホーム」「商業施設」での空調28 について、7割が「今後も継続可能」と支持。「公共施設」については8割が支持                  ・「電車内」での空調28 についての「継続可能」との回答は約6割となり、駅構内等での対策実施指示割合と比較して下がる傾向(取組継続に「やや支障あり」との回答も3割存在)</p>
<p>街中のエレベータ/エスカレータの運転台数の削減</p>	<p><b>&lt;今夏の対策&gt;</b>                  ・7割が、「駅構内・ホーム」「商業施設」「公共施設」「道路・公共通路」での、エレベータ/エスカレータの運転台数の削減を支持(○と回答)                  ・同時に、支持度合いが△や×との回答も、それぞれ1割ずつ存在</p> <p><b>&lt;今後の取組継続&gt;</b>                  ・「商業施設」「公共施設」での取組継続について、7割が「今後も継続可能」と支持                  ・「駅構内・ホーム」での取組継続についての「継続可能」との回答は5割となり、4割は「やや支障あり」との回答(他と比べ、「やや支障あり」の回答割合が高い傾向)</p>



# 東京における「今夏の節電対策」実施結果

～都内事業所等への今夏の節電対策に関するアンケート調査結果を踏まえて～

## 3. 「街頭アンケート」調査【参考：アンケート事項一覧】

### ■家庭での節電の取組

	家庭の節電対策メニュー	今夏実施	今後の取組の継続		
			継続できる	やや困難	非常に困難
エアコン	・室温設定は、夏 28 を心がける(扇風機を併用すると涼しく感じる) 10%削減				
	・夏は、「すだれ」「よしず」で窓からの日差しを和らげる(冷房の消費電力を下げる) 10%削減				
照明	・日中は照明を消し、夜間の点灯も最小限にする 5%削減				
テレビ	・省エネモードや画面の輝度を下げる設定にして不要な時は消す 2%削減				
待機電力	・本体の主電源を切る。長時間使わない時は、プラグをコンセントから抜く 2%削減				
温水洗浄便座	・便座保温・温水オフ機能、タイマー節電等を活用 ・上記の機能がなければ、プラグをコンセントから抜くいずれかの対策で 1%未満削減				
冷蔵庫	・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰めこまないようにする 2%削減				

### ■街中での節電の取組

各シーンでの許容度	照明の明るさ				エレベータ/エスカレータの運転台数の減少				空調温度(冷房28設定)			
	今夏の取組 x	継続可能	やや支障	非常に支障	今夏の取組 x	継続可能	やや支障	非常に支障	今夏の取組 x	継続可能	やや支障	非常に支障
駅構内、ホーム												
電車内												
デパート等商業店舗												
公共施設												
道路、公共通路												

